

Title	東京歯科大学研究年報 : 平成24年度
Journal	東京歯科大学研究年報, (): -
URL	http://hdl.handle.net/10130/3119
Right	

平成24年度

東京歯科大学研究年報 講座・研究室プロフィール

水道橋病院

更新履歴

Dec. 31, 2013 ver.1.0.0 最初の公開バージョン

無断で全部または一部を改変すること、電子的または印刷によって複製を作ること、再配布することを禁じます。

Copyright 2013, 東京歯科大学研究部 All rights reserved.

凡 例

1. これは、東京歯科大学における平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の講座・研究室のプロフィールと研究業績をまとめたものである。
2. 業績は、担当者の所属する講座、研究室の別に分け、それぞれ論文(総説・原著/原著論文・原著/臨床研究論文・原著/症例報告論文)、解説、単行図書、学会発表、調査報告、その他の順に配列した。
3. 論文の記載は、①著者名、②題名、③掲載誌、④巻、⑤初頁-終頁、⑥発行西暦年の順とした。号の必要な時には、④巻のつぎに括弧で囲んで記入した。また学位論文には、⑥に続いて学位論文の種別を記入した。
4. 解説の記載は、①著者名、②題名・表題、③掲載誌、④巻、⑤初頁-終頁、⑥発行西暦年の順とした。
5. 単行図書の記載は、①著者名、②単著・共著・著分担・監修・編集・訳の別、③書名、④発行西暦年、⑤出版社または発行所、⑥出版都市名、⑦ISBN/ISSN番号の順とした。単行図書の一部を分担執筆した場合には、③書名に続いて、分担部分の表題、その初頁-終頁を追記した。
6. 学会発表の記載は、①演者名、②演題表題、③抄録掲載誌、④巻、⑤初頁-終頁、⑥発行西暦年、⑦発表学会、⑧開催地の順とした。
7. 調査報告は、①著者名、②単著・共著・著分担・監修・編集・訳の別、③報告書名、④発行者名、⑤発行西暦年の順とした。一部を分担した場合には、④発行者名に続いて、分担部分の表題、その初頁-終頁を追記した。
8. その他には、上記のカテゴリに該当しない学術的業績を記載した。
9. 学会等に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演はプロフィールの「研究活動の特記すべき事項」の項目に記載した。
10. 医学知識の啓発を目的とする講演会(一般市民を対象とするもの)における講演・発表や、メディア等への掲載・出演は、プロフィールの「社会的貢献・社会に対する活動」の項目に記載した。
11. 業績の後にはつぎの事項をその順序に従って記入した。①文科省科研費の種別、②その他の助成金・受賞等、③著者・発表者の所属機関の名称、④DOI、PubMed ID、URI、医学中央雑誌番号等の標識。
12. 発表者の所属機関は検索の利便を考慮して略記せず、可及的に正式な機関の名称を表記した。東京歯科大学の各部署の表記規則については後掲の別表に定めるところに拠った。
13. 欧文で発表されたものについては、氏名はICMJE(International Committee of Medical Journal Editors)が推奨する形式(Vancouver Style)に準じて、ローマ字で表記するものとした。
例 :Nakamura T, Tanaka Y, Smith AJ.

所属機関の表記は検索の利便を考慮して、欧文で発表されたものであっても、本学および国内機関の名称は和名で表記した。これは同一の機関や部署であっても、発表ごとに英文表記が異なる場合が多いためである。
例 Dept. of Periodontology, Tokyo Dental College → 東京歯科大学歯周病学
14. 雑誌名は英文誌においてはNLM(National Library of Medicine)のNLM Catalog: Journals referenced in the NCBI Databases(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>)の定めるところに拠って略記した。国内和文誌においては略記せず正式な誌名をそのまま表記した。

部署名表記の規則

1. 必ず東京歯科大学を先頭に付ける。
 - a. 市川総合病院、水道橋病院の部署はそれぞれの名称を東京歯科大学に続けて表記する。
2. 部署名の後に「講座」、「研究室」等の名称は表記しない。
3. 区切りスペースは用いない。
4. 東京歯科大学水道橋病院口腔健康臨床科学講座の各分野は、分野名を続けて表記する。ただし分野名に付く「科」は省略する。
5. 中黒・は下記に限り使用する。
 - a. 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学
 - b. 東京歯科大学千葉病院摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科

- c. 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座の各分野
 - d. 東京歯科大学口腔科学研究センターの各部門
6. 学外の研究機関については業績の根拠となるデータ（論文・学会発表の抄録など）に記載された表記に拠る。ただし下記については共著となる例が多いので統一規則を用いる。

慶應義塾大学医学部	例) 慶應義塾大学医学部眼科
東京慈恵会医科大学	例) 東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科
東京都立大塚病院口腔科	
東京都立府中病院歯科口腔外科	

平成 24 年度東京歯科大学研究年報 部署コード番号および表記の一覧

- 001 東京歯科大学解剖学
- 002 東京歯科大学口腔超微構造学
- 003 東京歯科大学生理学
- 004 東京歯科大学生化学
- 006 東京歯科大学微生物学
- 007 東京歯科大学薬理学
- 008 東京歯科大学歯科理工学
- 009 東京歯科大学衛生学
- 010 東京歯科大学法歯学
- 011 東京歯科大学社会歯科学

- 101 東京歯科大学歯科保存学
- 102 東京歯科大学歯周病学
- 104 東京歯科大学小児歯科学
- 105 東京歯科大学口腔外科学
- 106 東京歯科大学歯科麻酔学
- 107 東京歯科大学有床義歯補綴学
- 108 東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学
- 109 東京歯科大学歯科矯正学
- 110 東京歯科大学歯科放射線学
- 111 東京歯科大学スポーツ歯科学
- 112 東京歯科大学臨床検査病理学
- 113 東京歯科大学口腔インプラント学
- 114 東京歯科大学千葉病院総合診療科
- 219 東京歯科大学口腔がんセンター

- 201 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学
- 202 東京歯科大学市川総合病院内科
- 203 東京歯科大学市川総合病院外科
- 204 東京歯科大学市川総合病院循環器内科
- 205 東京歯科大学市川総合病院心臓血管外科
- 206 東京歯科大学市川総合病院消化器内科
- 207 東京歯科大学市川総合病院小児科
- 208 東京歯科大学市川総合病院脳神経外科
- 209 東京歯科大学市川総合病院整形外科
- 210 東京歯科大学市川総合病院産婦人科
- 211 東京歯科大学市川総合病院眼科
- 212 東京歯科大学市川総合病院耳鼻咽喉科
- 213 東京歯科大学市川総合病院皮膚科
- 214 東京歯科大学市川総合病院泌尿器科
- 215 東京歯科大学市川総合病院放射線科
- 216 東京歯科大学市川総合病院麻酔科
- 217 東京歯科大学市川総合病院精神科
- 218 東京歯科大学市川総合病院臨床検査科
- 220 東京歯科大学市川総合病院形成外科

- 505 東京歯科大学市川総合病院角膜センター
- 301 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存
 302 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴
 303 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科
 304 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正
 305 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科
 306 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔
 307 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント
 308 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科
 309 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科放射線
 310 東京歯科大学水道橋病院眼科
 311 東京歯科大学水道橋病院内科
- 401 東京歯科大学英語
 402 東京歯科大学独語
 403 東京歯科大学数学
 404 東京歯科大学物理学
 405 東京歯科大学化学
 406 東京歯科大学生物学
 407 東京歯科大学体育
 408 東京歯科大学法人類学
- 501 東京歯科大学口腔科学研究センター（hrc7, hrc8を含む）
 502 東京歯科大学口腔科学研究センター・口腔インプラント学研究部門
 504 東京歯科大学歯科医学教育開発センター

その他

放射線技師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、薬剤師等の所属を示す場合の例

- 東京歯科大学千葉病院放射線科
 東京歯科大学千葉病院歯科衛生士部
 東京歯科大学千葉病院医療安全管理室
 東京歯科大学千葉病院看護部
 東京歯科大学市川総合病院看護部
 東京歯科大学市川総合病院歯科・口腔外科
 東京歯科大学市川総合病院栄養管理室
 東京歯科大学市川総合病院薬局
 東京歯科大学水道橋病院放射線科
 東京歯科大学水道橋病院歯科技工室

学生が著者の場合は 東京歯科大学（学生）とした。
 名誉教授・元教授は元の所属講座が記載されていない場合に限って、東京歯科大学とした。

1. 口腔健康臨床科学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	山下秀一郎	(歯科補綴学分野)	主機能部位としての大白歯部の役割 咬合の崩壊症例に対する新たな咬合検査法の確立 食塊の移送能を中心とした咀嚼機能評価法の確立 咀嚼を指標とした新たな味覚検査法の検討短縮歯列における顎関節の動態
准教授	澁川 義宏	(歯科保存学分野)	顎関節の成長発育および恒常性維持におけるヘッジホッグシグナルの役割
	杉戸 博紀	(歯科保存学分野)	臨床研修施設(歯科診療所)における研修歯科医の実態把握・検証等に関する研究
講師	堀田 宏巳	(歯科補綴学分野)	咬合再構成時における咬頭嵌合位決定方法の検討
	高野 正行	(口腔外科学分野)	粘膜染色による口腔粘膜疾患の診断に関する研究
	大多和由美	(小児歯科学分野)	障害者の安全で効率的な歯科治療
	福田 謙一	(歯科麻酔学分野)	鎮痛関連物質受容体の遺伝子多型研究 歯科治療中の患者の気分不快と心拍変動解析
	関根 秀志	(口腔インプラント学分野)	インターナルタイプインプラントの臨床調査 CAD/CAMを応用した自家製アバットメントの臨床的評価 口腔インプラント学教育における視覚素材の開発
	古澤 成博	(総合歯科学分野)	歯科衛生士養成施設における教育の検討
	笠原 清弘	(口腔外科学分野)	口腔外科手術におけるSIRSと術後合併症との関連
	片田 英憲	(歯科矯正学分野)	矯正力加重時の顎顔面頭蓋の変形様相に関する研究
	宮崎 晴代	(歯科矯正学分野)	不正咬合と歯牙喪失の関係について
	久保 周平	(小児歯科学分野)	小児歯科領域における3D-CT写真の活用
助教	半田 俊之	(歯科麻酔学分野)	プレガバリンの臨床的有用性の検討
	田口 達夫	(口腔インプラント学分野)	インプラント手術後の生体反応(疼痛・腫脹)に関する臨床的研究 術後管理におけるインプラント周囲組織の評価プロトコルの策定
	細川 壮平	(総合歯科学分野)	結合組織移植を行った症例に関する術後経過の検討
	藤波 弘州	(歯科保存学分野)	自己増殖歯根膜組織を用いた歯周組織再生療法の研究
	三宅菜穂子	(歯科補綴学分野)	補綴材料への口腔内細菌の吸着に関する実験的研究
	金井 由起	(歯科補綴学分野)	歯学教育モデル・コア・カリキュラムと対応した臨床講義, 臨床実習のあり方
	横山 葉子	(口腔外科学分野)	健常日本人のオトガイ神経支配領域における感覚閾値に関する臨床的検討
	高久勇一朗	(口腔外科学分野)	下顎枝矢状分割術術後の感覚障害に関する研究
高山 裕樹	(口腔外科学分野)	口腔扁平上皮癌における破骨細胞性骨吸収の解析	
菅原 圭亮	(口腔外科学分野)	硬組織切削用超音波メスの有用性について 口腔扁平上皮癌における頸部リンパ節転移予測分子マーカーの	

		同定
	小坂 竜也 (歯科矯正学分野)	CT情報を利用した顎顔面形態解析プログラムの開発
	内田 悠志 (歯科矯正学分野)	骨芽細胞における細胞内シグナル解析
	大串 圭太 (歯科麻酔学分野)	日帰り全身麻酔の覚醒・回復に及ぼす筋弛緩薬の影響に関する検討
	松崎 文頼 (口腔インプラント学分野)	インプラント即時負荷術式に対する臨床的評価 上部構造へのジルコニア素材の応用
	高梨 琢也 (口腔インプラント学分野)	コンピューターガイドシステムを用いた外科処置の臨床的評価 ミニインプラントの応用に関する臨床的調査
	森岡 俊行 (口腔インプラント学分野)	ヒト有歯顎下顎皮質骨大白歯部における生体アパタイト結晶
	早川 裕記 (総合歯科分野)	唾液検査と歯周病原菌についての検討
レジデント	井田 篤 (歯科保存学分野)	保存治療の予後判定に関する臨床的研究
	羽鳥 友子 (口腔外科学分野)	口腔扁平上皮癌T1, T2における細胞診の臨床的検討
	濱田 裕嗣 (口腔外科学分野)	顎変形症に関する臨床統計学的研究
	天池 舞美 (口腔外科学分野)	水道橋病院口腔外科における口腔良性腫瘍に関する臨床統計学的研究
	伊藤 和宏 (口腔外科学分野)	上顎正中過剰埋伏歯抜歯に関する臨床研究
	大岩 浩気 (口腔外科学分野)	実物大臓器立体石膏モデルの顎骨腫瘍に対する臨床応用の有用性
	永井佐代子 (口腔外科学分野)	口腔前癌病変の臨床病期における粘膜表面の微細形状の変化に基づく発癌予知
	納賀 優三 (口腔外科学分野)	顎矯正手術に生じた偶発骨折の臨床的検討
	牧野盛太郎 (口腔外科学分野)	口腔インプラントの予後因子に関する研究
	高久佐紀子 (歯科矯正学分野)	高齢者大学に通学する学生の口腔内および骨密度について
	牧野 正志 (歯科矯正学分野)	上顎前歯部歯槽骨切り術、下顎枝矢状分割術併用の有用性
	岩田 直晃 (歯科矯正学分野)	先端巨大症患者の治療経過について
	田鶴濱泰子 (歯科矯正学分野)	埋伏歯の臨床統計
	飯塚 美穂 (歯科矯正学分野)	超音波診断装置による安静時舌位の評価
	須田 永子 (歯科矯正学分野)	DentalPrescaleを用いた矯正治療後の咬合力における前向き研究
	小野寺隆昭 (歯科麻酔学分野)	レミフェンタニルの出血量抑制効果
	市川 絢子 (歯科麻酔学分野)	Painvisionの臨床的有用性
	古屋 克典 (口腔インプラント学分野)	インプラント上部構造に生じる偶発症の統計学的検討
	西田 茜 (総合歯科分野)	咬合高径の変化に伴う顎関節の異常について
	山本 真志 (総合歯科分野)	義歯と支台歯間における被圧変位量の調整について
	後藤 良輝 (総合歯科分野)	漂白剤の違いによる接着への影響
	瓜田雄一郎 (総合歯科分野)	高度顎堤吸収をきたした総義歯患者における印象採得法
	星野 智美 (総合歯科分野)	歯周組織の健康と患者のQOL向上について
	坂 友里 (総合歯科分野)	難治性根尖性歯周炎にたいする外科的対応について
	加納 整 (総合歯科分野)	漂白時間による知覚過敏症状の発現頻度について
	谷川 雄一 (総合歯科分野)	欠損補綴患者における主機能部位と咀嚼能力について
大学院生	坂本 豊明 (歯科麻酔学分野)	嘔吐反射を有する患者の心拍変動解析
	前納 允 (歯科麻酔学分野)	日帰り全身麻酔における各種薬剤の覚醒・回復に及ぼす影響

	青木 謙典 (歯科麻酔学分野)	鎮痛関連物質受容体の遺伝子多型研究
	本田 至史 (歯科麻酔学分野)	咀嚼筋・筋筋膜疼痛患者の病態分析
	吉田 香織 (歯科麻酔学分野)	術後痛のための個別化医療
	半澤 篤 (歯科麻酔学分野)	術後痛のためのセロコキシブの可能性
専攻生	庵原 義明 (歯科麻酔学分野)	歯科恐怖症患者の背景因子の分析

2. 成果の概要

歯科保存学分野

平成 24 年度における研修歯科医の全国的な在籍分布状況について、すべての研修プログラムを対象に調査を行った結果、平成 24 年度に臨床研修を行っている 1 年目の研修歯科医の月平均の都道府県分布は、最大は東京都であり、最少は鳥根県で年間を通じて研修歯科医の在籍はなかった。中断例は 21 例であった。また、研修歯科医は研修先の確保のため、マッチングでマッチしておくこと、臨床研修施設はマッチングで研修歯科医を採用しておくことが望ましいことが示唆された。一方、歯科診療所の研修プログラムで研修を行った研修歯科医数は増加しているものの、協力型臨床研修施設への出向者も含めて実際に歯科診療所で臨床研修を受けた研修歯科医数は全体の約 3 割弱であり、昨年度に比べてほとんど増加はしていないことが明らかとなった。

平成24年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)分担研究報告書

歯科補綴学分野

1) 主機能部位としての大白歯部の役割

硬い食品の咀嚼時には、第一大臼歯上に存在する主機能部位が中心となって粉碎が行われことが多いとされている。本研究では、臼歯部咬合支持の喪失を補綴処置した場合の主機能部位の位置や咬合接触関係、さらに咀嚼能力について、インプラント患者と部分床義歯患者との間で比較検討することを目的とした。その結果、インプラント患者では、健常有歯顎者と同様に主機能部位の多くが大白歯群に認められたが、部分床義歯患者では小白歯群に主機能部位の存在する傾向が強くなった。また、インプラント患者では補綴装置上にも主機能部位が存在する傾向にあったのに対して、部分床義歯患者では、天然歯同士の咬合接触上に存在する傾向が強かった。咀嚼能力評価については、部分床義歯患者において低いスコアを示す傾向が認められた。

Aust Dent J 57: 171-177, 2012.

2) 咬合の崩壊症例に対する新たな咬合検査法の確立

臼歯部の咬合支持が喪失し低位咬合となった症例では、全顎的な咬合の再構成を必要とすることが多い。このような症例では、最終補綴が終了した時点で付与すべき咬合状態の予測が難しく、プロビジョナルを用いた試行錯誤的方法により治療を進めているのが現状である。本研究では、側面頭部エックス線規格写真に基づく矯正学的分析法を応用することで、患者固有の顎顔面形態に即した下顔面高を求め、咬合高径を評価する新たな判断基準について検討することを目的とした。セファロ分析から下顔面高を従属変数とした重回帰分析を行った結果、Nasal floor to SN, Gonial angle, N-ANS, \angle SNA の 4 項目を独立変数とする回帰式を算出することができた。

日本補綴歯科学会誌 4(121回特別): 122, 2012.

3) 咀嚼を指標とした新たな味覚検査法の検討

本研究では、味質を混入した試験試料を咀嚼させた場合に、味を認識できるのに何回の咀嚼が必要かを調べることで、味の認識能力を客観的に評価する検査法を新たに確立することを目的とした。ゼラチンの濃度を 15% に規定した被験食品に、基本四味(甘味:蔗糖、塩味:塩化ナトリウム、酸味:酒石酸、苦味:塩酸キニーネ)を添加した。添加する味質の濃度は全口腔法を参考に 5~6 段階に設定した。被験者に各試験食品を 90 回/分にて咀嚼するよう指示し、その味を認識するまでに要した咀嚼回数を数えた。その結果、認知閾値の平均値付近の濃度における咀嚼回数の平均値は、各味質とも約 10 回に収束する傾向にあった。各味質とも濃度が濃くなるにつれて、味判定の正答率は高くなり、味を認識するのに必要な咀嚼回数は減少する傾向が認められた。正答率 90% 付近の濃度にお

ける咀嚼回数の平均値は、苦味が他の味質と比べて大きな値を示した。

J Prosthodont Res 56(3): 210-215, 2012.

4) 補綴材料への口腔内細菌の吸着に関する実験的研究 (A05-0792-14)

これまで補綴材料表面に対する口腔内細菌の吸着の機序について研究してきた。今回、歯冠用硬質レジン(レジン)表面への唾液タンパクの吸着を想定し、粉碎したレジン(8種)と牛血清アルブミン(BSA), 吸着実験後のレジンのゼータ電位を比較した。レジンと BSA のゼータ電位の差の大きさから 2 つに分けられた。レジンと BSA のゼータ電位の差が小さい場合、静電的相互作用は反発力として作用するため、BSA の吸着量が少なく、ゼータ電位の差が大きい場合、引力型へ逆転するため、BSA の吸着量が多い。そのため、ゼータ電位は BSA の吸着の影響を受け、表面電荷の絶対値が小さくなった。これらの結果から、BSA の吸着したレジンのゼータ電位は BSA なしのレジンのそれよりも有意に負に小さくなったことと、レジン表面への BSA 吸着において静電的相互作用が重要な役割であることを示唆された。

J Biomed Sci Engin 6: 273-276, 2013.

矯正歯科学分野

1) Characteristics of dentoskeletal morphology and treatment changes in 2- maxillary premolar extraction: a comparison with 4-premolar extraction

Dentoskeletal morphology in the U2 group exhibited a severe Class II molar relationship, little need for maxillary incisor retraction, and a morphology in which bite opening was severe. Treatment changes in the U2 group showed that extraction spaces were used for mesial movement of maxillary molars in many cases, that bite-opening resulted from mandibular clockwise rotation, and that contraction of the upper arch and expansion of the lower arch occurred in anteroposterior and lateral directions. Severity of Class II molar relationship, anteroposterior position of mandibular incisors, and lower arch depth were selected as criteria for distinguishing pretreatment between groups U2 and UL4. Cases with 2-maxillary premolar extraction showed a characteristic dentoskeletal morphology compared to cases with 4-premolar extraction.

J World Fed Orthod 2(2): e71-e76, 2013.

2) Case Reports of Orthodontic Treatment of Maxillary Central Incisors with Short Roots

Maxillary central incisors with short roots are occasionally encountered during orthodontic diagnosis. From an esthetic point of view, the central incisors occupy the most noticeable position in the maxillary and mandibular arches, and whether or not to extract them marks a major turning point in the planning of orthodontic treatment. In deciding a treatment strategy in this situation, there are two options to be considered: 1) treatment without extraction due to esthetic considerations; or 2) extraction, taking risk and prognosis into account. Whichever strategy is adopted, however, it will still be necessary to bear in mind that the treatment and prognosis will differ from that in normal orthodontic treatment. If no extraction is to be carried out, care must be taken that no further shortening occurs during the course of active treatment and that stable retention is preserved. On the other hand, if the central incisors are to be extracted, care must be taken to ensure that this has no negative esthetic impact, either during or after orthodontic treatment.

Bull Tokyo Dent Coll 53(4): 163-171, 2012.

小児歯科学分野

障害者に対する歯科治療において安全かつ効率的な歯科治療を行うために、行動調整が必要である。その中の一つに全身麻酔下の歯科治療がある。我々は、東京歯科大学水道橋病院で全身麻酔下に歯科治療を行った障害者の歯科治療について来院経緯や治療内容について、レトロスペクティブに調査を行なった。対象者は、男性 106 名、

女性 57 名の計 163 名であった。年齢は 2 歳から 53 歳と幅広く、20 歳未満が 118 名 (72.4%) で未成年の占める割合が高かった。障害は精神遅滞を伴う疾患がほとんどであった。ほとんどの患者が医療機関からの紹介で来院しており、特に地域の障害者歯科診療所からの紹介が多かった。当院は地域との連携例が多く、より地域との連携を深めることの重要性が示唆された。

Bull Tokyo Dent Coll 53(4): 181-187, 2012.

歯科麻酔学分野

1) 鎮痛関連物質受容体の遺伝子多型が下顎形成術後の疼痛治療に及ぼす影響に関する研究

術中フェンタニルの使用で、363 名を対象として調査し、下顎枝矢状分割術中に採取された血液から、遺伝子多型の解析を行った。全身麻酔導入時のフェンタニール投与前後の示指氷水浸漬による疼痛感知潜時間と術後の PCA 法によるフェンタニールの摂取量の両者において、ヒトのニューオピオイド受容体遺伝子 OPRM1 の SNP の 1 つ A118G が関連することが判明した。この結果から、A118G の遺伝子多型によって、オピオイドに対する個々の感受性の相違を予測できる可能性が示唆された。今年度は、手術前に遺伝子を解析し、個々の患者に合わせた鎮痛薬量に調整した術後疼痛管理が有効か否かを、術中レミフェンタニルの使用で、調査を開始した。

麻酔 58 1102-1108, 2009.

Pain 147(1-3), 194-201, 2009.

Anesth Prog 57(4):145-149, 2010.

J Pharmacol Sci 121(1):48-57, 2013.

2) 下顎枝矢状分割術後神経症状と遺伝子多型関連の網羅的探索

神経障害性疼痛の発生の有無、神経伝達異常の有無、神経回復過程などの個人差が、遺伝子多型と関連しているか否かを網羅的遺伝子解析によって調査した。現在、下顎枝矢状分割術後患者 334 名の臨床データを整理し、網羅的遺伝子を解析することでその関連結果を得た。

第55回日本人類遺伝子学会発表

臨床麻酔 36(11):1591-1598, 2012.

3) 極度の歯科恐怖症の病態分析

3 年間にリラックス歯科治療外来に初診来院した歯科恐怖症患者 324 名を対象として、その中で極度の歯科恐怖症 48 名を抽出し、歯科に対して極度な恐怖感を持つようになる因子について多変量解析にて分析した。

第37回日本歯科麻酔学会発表

日本歯科麻酔学会雑誌 38(5), 596-597, 2010.

4) 嘔吐反射患者の病態分析

3 年間にリラックス歯科治療外来に初診来院した嘔吐反射を有する患者 121 名を対象として、その患者群の背景、歯科受診回避に潜在する恐怖感と不安、及び行動調整法を調査し、さらに Fiske の分類に分けられた重症群を対象として、重症化に影響する因子について調査した。

第38回日本歯科麻酔学会発表

日本歯科麻酔学会雑誌 38(5), 596-597, 2010.

Oral Rehabilitation 40:106-111, 2013.

5) 歯科治療中の患者の気分不快と心拍変動解析

歯科治療中は、血管迷走神経反射など急激な自律神経異常によって、患者が気分不快を訴えることがしばしばある。このような急激な患者の病態変化に対して、循環系モニターに加えて、自律神経系変動の観察が可能であれば、より患者管理に有用と考える。最近登場した心拍変動解析機器 (リラックス名人®: クロスウェル社製) は、測定値表示直前の 30 秒間のデータをメルカルム法によって解析し、心拍一拍毎に測定値を表示する。その連続して表示される測定値には、周波数解析による低周波成分 (LF)、高周波成分 (HF: 副交感神経活動に関連)、その比 LF/

HF(L/H: 交感神経活動に関連)と時間領域解析による R-R 間隔変動係数 (CVRR) があり、血圧、心拍数および経皮的動脈血酸素飽和度などの生体情報とともにリアルタイムに観察できる。このモニターの歯科臨床における実用性、有用性を調査し、改良について検討した。

日本歯科麻酔学会雑誌 38(3), 317-318, 2010.

6) 下顎枝矢状分割術の出血量抑制へのレミフェンタニルの効果

下顎枝矢状分割術のプロポフォール全身麻酔において、フェンタニル併用時とレミフェンタニル併用時の出血量と循環変動を比較検討している。レミフェンタニルの併用が循環に影響することなく出血量を減少させ、顎骨内の血流減少に寄与している可能性が考えられた。

第40回日本歯科麻酔学会発表

7) プレガバリンの臨床的有用性の検討

口腔顔面領域の痛みに対するプレガバリンの効果をレトロスペクティブに集計した。プレガバリンは筋筋膜痛や神経障害性疼痛に対し鎮痛効果を発揮することを証明した。しかし重大な副作用の発現もみとめられるため十分な注意が必要である。

第40回日本歯科麻酔学会発表

8) 口腔外科手術後痛の主観的な痛みと客観的な痛みの関連性 Pain Visionを用いて

東京歯科大学水道橋病院手術室で行った口腔外科手術の術後3時間・24時間後の痛みの Visual analogue scale と Pain Vision で測定された「痛み度」が相関関係が存在するか検討を行った。さらに触覚閾値が術後の痛みに関与しているかも併せて評価した。

痛み指数と痛みのVASは、術後3、24時間ともに相関があり、痛み度と痛みのVASは弱い相関が認められた。今回私たちは、痛みのVASとPain Vision®で測定した痛み指数、痛み度に相関関係にある結果を得た。術後痛においてもPain Vision®で測定される数値はVASと相関関係にあったことから、術後の痛みを客観的に評価する機器としてPain Vision®が有効である可能性が示唆された。

口腔インプラント学分野

1) CAD/CAMを応用した自家製アバットメントの臨床的評価

エクスターナルジョイント (Ex)、インターナルジョイント (In) を有する各インプラントと、CAD/CAM 製のジルコニアアバットメント (Zi) との連結部におけるマイクロギャップ、厚さによる破壊荷重をチタンアバットメント (Ti) と比較した。インプラント体に装着して静的荷重を行った場合、Ti では Ex・In や厚みを問わず、連結部付近でアバットメントスクリューの大きな変形を認め、Zi では Ex・In を問わず厚さ 1.0mm、0.6mm で連結部から軸方向のクラック、連結部に水平方向のクラックが生じ、0.4mm でアバットメント本体に水平方向のクラックが認められた。破壊荷重値は、Ex-Ti は厚さ 1.0mm、0.6mm に比べ 0.4mm で有意に減少し、Ex-Zi は厚みの減少に伴い有意に減少した。In-Ti、In-Zi とも厚みの減少に伴い有意に減少した。Ti と Zi の Ex・In とも 0.4mm に比べ 0.6mm、1.0mm で有意に高値を示した。

日本口腔インプラント学会誌 26(1): 3-12, 2013.

2) CAD/CAMを応用した自家製アバットメントの臨床的評価

臨床で広く応用されているジルコニアの主流はイットリア添加正方晶ジルコニア (Y-TZP) であるが、通常は半焼結体を加工したのち 1350°C 程度で大気焼結を行って臨床に應用されている。Y-TZP を使用する場合サンドブラスト、エッチングといった表面処理を行うが、その結果、表面構造が変化し、機械的性質や結晶構造が変化することが考えられる。このたび、表面処理及び結晶構造の変化による疲労強度の変化について検討した。その結果、熱間等方圧加圧処理により約二倍以上の強度が得られ、有効性が示された。

Dent Mater J 32(2): 274-280, 2013.

3) 術後管理におけるインプラント周囲組織の評価プロトコルの策定

下顎右側第二小臼歯部欠損を放置したために遠心隣在歯である第一大臼歯が近心傾斜した 57 歳の男性に対して、口腔内環境の改善を図ったのちに咬合を回復した。初診時には第一大臼歯の近心傾斜のため、第二小臼歯部に歯間空隙は認められなかった。加えて第二大臼歯を喪失しており、患者は右側臼歯部の咀嚼障害を訴えていた。咬合機能の回復のためには、第二大臼歯部の歯冠回復のみならず、第一大臼歯の咬合の改善が必要であると考えられた。そこで、矯正治療により近心傾斜歯を整直した後に、インプラント治療を適用し咬合を回復した。現在 3 年 9 か月を良好に経過し、患者の満足が得られている。口腔内環境を適切に改善するために、包括的な治療計画の立案と実施が有効であると考えられる。

Bull Tokyo Dent Coll 53(3): 109-117, 2012.

4) インプラント上部構造に生じる偶発症の統計学的検討

2009 年 1 月から 2012 年 3 月までの 3 年間に東京歯科大学水道橋病院口腔インプラント科においてインプラント治療による咬合回復を行い、術後管理がなされている 373 症例を対象とした。調査項目は、上部構造装着後の術後管理中に生じたインプラント周囲炎に代表される炎症性変化、前装材料の破折、上部構造の脱離、スクリューの緩み、近心コンタクトの離開、インプラントオーバーデンチャーの不具合の 7 項目とした。

このたびの調査では、過去 3 年をさかのぼる術後管理において、373 症例中 71 症例、約 19% の症例に合併症を生じていた。その中で炎症性の合併症を生じた 5 症例中 3 症例においてインプラント体の除去を要しており、インプラント周囲炎への対策の重要性があらためて確認された。

日本口腔インプラント学会誌 25 (特別号) : 253, 2012.

5) インプラント上部構造に生じる偶発症の統計学的検討

2011 年 1 月から同年 12 月に東京歯科大学水道橋病院口腔インプラント科を初診にて来院した患者を対象とした。調査項目は、年齢、性別、主訴、基礎疾患の有無、欠損部位ごとにおける欠損歯数、インプラント治療経験の有無、義歯使用経験の有無の 7 項目として分析し、併せて 2010 年の調査結果と比較した。義歯の使用経験者が少なく、昨年の調査と異なる結果となった。これは欠損補綴治療の第一選択として、インプラント治療が選択されていることが推察される。一方で、インプラント治療の不具合を訴える患者数は昨年の 2.4 倍の 47 人であり、増加傾向を認めた。

日本口腔インプラント学会誌 25 (特別号) : 266, 2012.

6) インプラント手術後の生体反応 (疼痛・腫脹) に関する臨床的研究

東京歯科大学水道橋病院口腔インプラント科にて 2009 年 6 月から 2011 年の 5 月までの 3 年間にインプラント埋入手術を実施した患者を対象に、東京歯科大学水道橋病院の倫理委員会にて承認された様式に則り、アンケート調査を行った。術後の不快症状として、疼痛と腫脹の発現程度と期間について回答を求めた。不快症状に関連する項目としてインプラントの埋入本数、埋入手術時間、埋入部位について調査した。

その結果インプラント埋入手術後には、様々な不快症状が発現し、手術侵襲の大きさによって不快症状の発現様相が異なった。インプラント埋入手術にあたり、術前にこれらの内容を十分に患者に理解させ、不快症状の発症に備えることが、術者と患者の信頼関係を構築し、維持することにつながると考えられる。

日本口腔インプラント学会第32回関東・甲信越支部学術大会プログラム・抄録集 p.113, 2012.

J Prosthodont Res 56(1): 47-52, 2012.

総合歯科学分野

1) 東京歯科大学水道橋病院における臨床専門専修科生プログラムに関するアンケート調査

臨床研修修了後の歯科医師が、生涯研修の第一歩として学習するための新たなプログラムを作成し、臨床の場で実践している報告は数少ない現状にある。東京歯科大学水道橋病院では、各科において独自のプログラムを作成し教育を行ってきた。今回は当病院の臨床専門専修科生プログラムのうち、総合歯科学分野の歯科保存学系プログラムについて、平成 22 年度と 23 年度の臨床専門専修科生 16 名に対してアンケート調査を行い、評価を行った。その結果、各種セミナーについては好評であったが、講義よりも実技実習を望む声が多かったことから、今後はより実

技実習を主眼においたセミナーを開催する必要があるものと思われた。また、臨床の指導体制は概ね良好であったものの、担当した患者数にバラツキが見られるとともに、チェアの台数の不足が指摘された。今後より充実したプログラムにするためには、診療体制の整備も必要であるものと思われた。

歯科学報 113(1): 69-76、2013.

2) 大学課程における歯科衛生士養成教育

現在の歯科衛生士養成教育は、「歯科衛生士学校養成所指定規則」の改正により修業年限が3年以上になり、また教育内容も以前と比べ大きく変化してきた。さらに4年制大学課程での歯科衛生士養成教育も開始され、歯科衛生士養成教育にも様々な特色があらわれてきた。本稿で解説した本学の現行カリキュラムも、既に数年前から再検討を加え、新カリキュラムへと移行することが決定している。近年の歯科衛生士養成教育は、時代のニーズとともにこれからも変わっていくものと思われる。歯科保健医療に従事するそれぞれの職種の業務内容は勿論のこと、その職種の養成教育に関わる内容も含めて認識、相互理解を深めることが、今後の歯科保健医療のさらなる発展に結びつくものと考えられる。

歯科学報 112(4): 457-461, 2012.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
澁川 義宏	遺伝子発現解析による下顎頭の加齢的变化と変形性顎関節症の病態の解明	フィラデルフィア小児病院外科学講座整形外科学分野	Philadelphia, USA	Koyama E
杉戸 博記	今後の歯科医師臨床研修制度の改善のための実態把握及び効果的なプログラム等構築・運用等に関する研究	東京医科歯科大学	東京都文京区	俣木 志朗
福田 謙一 青木 謙央	鎮痛関連物質受容体の遺伝子多型が下顎骨切り術後の疼痛治療に及ぼす影響に関する前向き研究	東京都医科学総合研究所分子精神医学研究部門	東京都世田谷区	池田 和隆
福田 謙一 吉田 香織	口腔顔面領域神経障害性疼痛と遺伝子多型の関連に関する研究	東京都医科学総合研究所分子精神医学研究部門	東京都世田谷区	池田 和隆
福田 謙一	静脈内投与及び経口投与アデノシン三リン酸の鎮痛作用	ハーバーUCLAメディカルセンター麻酔科	Los Angeles, USA	福永 敦翁
福田 謙一	歯科治療中の患者の気分不快と心拍変動解析	横浜国立大学工学部	横浜市	小泉 淳一
関根 秀志	ジーシーインプラント・インターナルシステムの市販後使用成績調査	福岡歯科大学	福岡市	松浦 正朗

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
山下秀一郎	骨折治癒メカニズムを応用した歯科インプラントにおける新規骨誘導法の開発	文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C)
澁川 義宏	変形性顎関節症における軟骨細胞の機能障害の解明および治療法の開発	文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C)

関根 秀志	ジーシーインプラント・インターナルシステムの市販後使用成績調査	株式会社ジーシー
-------	---------------------------------	----------

5. 研究活動の特記すべき事項

受賞

受賞者名	年月日	賞名	テーマ	学会・団体名
澁川 義宏	2012.10. 1	第98回アメリカ歯周病学会臨床演題部門最優秀賞受賞	Long-term follow-up of regenerative therapy for generalized aggressive periodontitis	アメリカ歯周病学会

シンポジウム

シンポジスト	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
澁川 義宏	2012.11.11	歯周治療の変遷と再生療法	第22回日本歯科医学会総会	大阪市
久保 周平	2012. 4.15	「分野別の外傷、破折、亀裂について」小児における歯の外傷	日本外傷歯学会第2回東日本地方学術大会	東京都文京区
久保 周平	2012. 5.12	東日本大震災を体験して小児歯科医ができること, 小児歯科医だからできたこと	日本小児歯科学会大会第50回記念大会	東京都千代田区
福田 謙一	2012.10. 7	口腔顔面領域における非麻薬性オピオイド鎮痛薬の臨床	第6回日本緩和医療薬学会	神戸市
福田 謙一	2012.12. 1	テーラーメイド疼痛治療を開始して	第33回日本臨床薬理学会学術総会	宜野湾市

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演題	学会名	開催地
福田 謙一	2012.10.12	Approach for dental pain that frustrates diagnosis	3rd China-ASEAN forum on dentistry	南寧、中国
福田 謙一	2012.12.16	口腔外科手術後におけるテーラーメイド疼痛治療	第2回臨床ゲノム医療学会	名古屋市
関根 秀志	2012. 8.19	多数歯欠損症例へのインプラント治療適用時の注意点	日本口腔インプラント学会第11回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会	東京都千代田区
関根 秀志	2012.11.25	多数歯欠損症例へのインプラント治療適用時の注意点	日本口腔インプラント学会第12回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会	福岡市

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演題	会合の名称	開催地
山下秀一郎	2012. 5.17	短縮歯列のコンセプトとその是非について考察する	水道橋病院症例報告会	東京都千代田区
山下秀一郎	2012. 9.17	摂食・嚥下運動におけるStageII transportの発現について	厚誠会歯科全体研修会	相模原市
山下秀一郎	2013. 3.20	リジッドサポートの概念に基づく義歯設計	厚誠会歯科全体研修会	相模原市

山下秀一郎	2013. 3.22	短縮歯列のコンセプトとその是非について考察する	歯科理工懇談会	東京都千代田区
杉戸 博記	2013. 2.19	医療保険制度及び医療保険について－とくにカルテ及び関係書類の記載、作成－	東京歯科大学同窓会東京地域支部連合会社国研究会	東京都千代田区
高野 正行	2012. 6.17	顎変形症の治療	シンセスセミナー	福岡市
高野 正行	2012. 7.11-14	Principle Craniomaxillofacial Fracture Management	AOCMFコース	横浜市
高久勇一郎	2012. 7.12	顎骨延長術を応用した症例の診断と治療	第10回東京歯科大学外科的矯正治療勉強会	東京都千代田区
高野 正行	2012. 7.14	口腔がん検診研修会	江戸川区歯科医師会	東京都江戸川区
高野 正行	2012. 9.23	口腔がんのを見つけ方	埼玉県歯科医師会口腔がん検診実習付ステップアップ講習会	東京都千代田区
高野 正行	2012.10.23	協力医向けアドバンス研修会	江戸川区歯科医師会	東京都江戸川区
高野 正行	2012.11. 5	感染予防とStandard Precautions	平成24年度東京都エイズ診療従事者派遣事業研修	東京都千代田区
高野 正行	2012.11.14	協力医向けアドバンス研修会	江戸川区歯科医師会	東京都江戸川区
高野 正行	2012.11.25	口腔がんのを見つけ方	埼玉県歯科医師会・口腔がん検診実習付ステップアップ講習会	東京都千代田区
高野 正行	2013. 1.28	感染予防とStandard Precautions	平成24年度東京都エイズ診療従事者派遣事業研修	東京都千代田区
高久勇一郎	2012.11. 6	歯科における事故対策	平成24年度東京都エイズ診療従事者派遣事業研修	東京都千代田区
高久勇一郎	2013. 1.29	歯科における事故対策	平成24年度東京都エイズ診療従事者派遣事業研修	東京都千代田区
菅原 圭亮	2013. 3. 4	顎変形症における智歯抜歯の時期と適応	第11回東京歯科大学外科的矯正勉強会	東京都中央区
大多和由美	2012. 7. 6	乳幼児に見られる諸問題 乳幼児期のお口のトラブル	恩賜財団母子愛育会地域母子保健4	東京都港区
大多和由美	2012.11. 5	HIV感染者の歯科治療	平成23年度東京都エイズ診療従事者研修派遣事業研修(東京歯科大学水道橋病院コース)	東京都千代田区
大多和由美	2013. 1.28	HIV感染者の歯科治療	平成23年度東京都エイズ診療従事者研修派遣事業研修(東京歯科大学水道橋病院コース)	東京都千代田区
久保 周平	2012. 5.20	小児歯科領域における歯の外傷	日本外傷歯学会認定医研修会	東京都文京区
久保 周平	2012. 7.29	明日から実践できる外傷歯の歯科治療外傷歯に対する診査・診断・長期観察例の紹介－初診時から定期健診時までの勘所－	東京都歯科医師会主催卒後研修	東京都千代田区

久保 周平	2012. 9. 1	特別支援学校東京都立町田の丘学園の口腔保健活動および児童・生徒の歯の外傷時の対応法	町田市学校歯科医会学術講演会	町田市
福田 謙一	2012. 7. 4	緊急時の対応と救急薬剤の使い方	千葉県保険医協会学術講演会	八千代市
福田 謙一	2012. 9.12	障害者歯科における薬物を応用した行動調整法	杉並区歯科医師会学術講演会	東京都杉並区
福田 謙一	2012.10.17	歯科医院における緊急時の対応	千葉県保険医協会学術講演会	千葉市
福田 謙一	2012.11.17	歯科医院における痛みの診断と治療	MDA会学術講演会	福岡市
関根 秀志	2012. 4. 7	問題症例からインプラントの適用を考える	東京歯科大学同窓会千葉支部連合講演会	千葉市
関根 秀志	2012. 4.12-10. 7	インプラント補綴のワークフロー各種インプラントの構造の特徴と選択骨結合獲得と長期維持のためのリスクマネジメントインプラント補綴における咬合ソフトティッシュマネジメントメンテナンス超高齢社会の到来を鑑みて	TDC卒研セミナー2012インプラントマスターコース	東京都千代田区
関根 秀志	2012. 5.20	埋入窩形成にかかわるリスクマネジメントアバットメントセレクション	日本口腔インプラント学会認定研修施設 歯義歯研究所 認定医のための100時間講習会	弘前市
関根 秀志	2012. 6. 24	インプラント治療におけるリスクマネジメントアバットメントセレクションカスタムインプレッションコーピングの臨床応用欠損歯列に対するインプラント治療の適用	日本口腔インプラント学会認定研修施設 歯義歯研究所 認定医のための100時間講習会	仙台市
関根 秀志	2012. 6. 30- 7. 1	インプラント治療におけるリスクマネジメント インプラント補綴にかかわるリスクマネジメント	株式会社ジーシー インプラントスキルアップセミナー	東京都千代田区
関根 秀志	2012. 9.14	インプラントの失敗症例から考えるリスクマネジメント	東京都中野区歯科医師会学術講演会	東京都中野区
関根 秀志	2013. 1.13	安心安全なインプラント治療に必要なリスクマネジメント	株式会社ジーシー ユーザーレベルアップセミナー	東京都千代田区
関根 秀志	2013. 2.15	生体に調和のとれたインプラント上部構造	だいさん会講演会	東京都千代田区

6. 教育に関する業績、活動

医学教育・歯学教育に関連する講演

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
山下秀一郎	2012.10.22	熊本県・伊東歯科口腔病院の視察報告－診療と医局員教育の体制について－かみ合わせの回復：補綴治療	第116回歯科医学教育セミナー	千葉市

教育ワークショップ・FD 研修

氏名	年月日	ワークショップ・研修会名	役割	開催地
山下秀一郎	2012. 4. 7	第2回臨床実習中の効果的なカリキュラム作成・実施の為のワークショップ	受講者	東京都千代田区
山下秀一郎	2012. 9. 1	水道橋病院口腔インプラント科ワークショップ	タスクフォース	東京都千代田区
杉戸 博記	2012. 4. 7- 8	第2回臨床実習中の効果的なカリキュラム作成・実施の為のワークショップ	参加者	東京都千代田区
杉戸 博記	2012. 7.28-29	第29回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会	タスクフォース	東京都千代田区
杉戸 博記	2012. 9. 1	平成24年度臨床教育力養成研修会	チーフタスク フォース	郡山市
杉戸 博記	2012. 9.29-30	第30回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会	タスクフォース	東京都千代田区
杉戸 博記	2012.10.13-14	平成24年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会	タスクフォース	東京都千代田区
杉戸 博記	2012.12. 1	第2回水道橋病院カルテ記載に関するワークショップ	チーフタスク フォース	東京都千代田区
杉戸 博記	2012.12.20-21	歯学教育者のためのワークショップ	参加者	東京都文京区
杉戸 博記	2013. 3.25	第121回歯科医学教育セミナー	講師	千葉市
笠原 清弘	2012.12. 1	第2回東京歯科大学水道橋病院カルテ記載に関する ワークショップ	タスクフォース	東京都千代田区
内田 悠志	2012. 7.28-29	第29回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会	受講者	東京都千代田区

共用試験

氏名	年月日	種別	役割	開催地
澁川 義宏	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	総務	東京都千代田区
藤波 弘州	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
山下秀一郎	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
堀田 宏巳	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
三宅菜穂子	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
金井 由起	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
高野 正行	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
高久勇一郎	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
高山 裕樹	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
笠原 清弘	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	総務	東京都千代田区
大岩 浩気	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	総務	東京都千代田区
横山 葉子	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	ST責任者	東京都千代田区

羽鳥 友子	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	器材係	東京都千代田区
濱田 裕嗣	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	器材係	東京都千代田区
天池 舞美	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	器材係	東京都千代田区
納賀 優三	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	器材係	東京都千代田区
伊藤 和宏	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	器材係	東京都千代田区
山村 哲生	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	アンケート係	東京都千代田区
菅原 圭亮	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	アンケート係	東京都千代田区
牧野盛太郎	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	SP	東京都千代田区
宮崎 晴代	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
片田 英憲	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
小坂 竜也	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
内田 悠志	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
高久佐紀子	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	集計	東京都千代田区
岩田 直晃	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	記録	東京都千代田区
福田 謙一	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
半田 俊之	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
関根 秀志	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
田口 達夫	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	評価者	東京都千代田区
松崎 文頼	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	誘導係	東京都千代田区
高梨 琢也	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	集計係	東京都千代田区
古屋 克典	2012. 7. 7	平成24年度水道橋病院臨床研修歯科医OSCE	機材係	東京都千代田区

他の大学・研究機関等における学生・大学院生を対象とする講義・実習

担当者名	年月日	テーマ・演題	大学・機関	所在地
山下秀一郎	2013. 2.18	短縮歯列のコンセプトとその是非について考察する	東京医科歯科大学大学院	東京都文京区
関根 秀志	2012. 9.25	インプラント治療の基礎	埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学	越谷市

7. 社会的貢献・社会に対する活動

その他メディア等への掲載・出演

氏名	年月日	タイトル	掲載誌・放送局番組名・URL
澁川 義宏	2013.7.7	歯周病から糖尿病への“魔のスパイラル”	たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学

口腔がん健診

氏名	種別	年月日	実施地域
菅原 圭亮	集団検診	2012. 5.27	千葉市
高野 正行	集団検診	2012.10.14	東京都江戸川区

菅原 圭亮	集団検診	2012.10.14	東京都江戸川区
天池 舞美	集団検診	2012.10.14	東京都江戸川区
牧野盛太郎	集団検診	2012.10.14	東京都江戸川区
菅原 圭亮	集団検診	2012.11.11	習志野市
高野 正行	集団検診	2013. 3.24	東京都江戸川区
菅原 圭亮	集団検診	2013. 3.24	東京都江戸川区
天池 舞美	集団検診	2013. 3.24	東京都江戸川区
納賀 優三	集団検診	2013. 3.24	東京都江戸川区

原著/臨床研究論文 2

24308007 原著/臨床研究論文

Hayakawa H1), Fujinami K2), Ida A2), Furusawa M1), Nikaido M3), Yamashita S4), Saito A5).

Clinical outcome of surgical periodontal therapy: A short-term retrospective study.

The Bulletin of Tokyo Dental College, (4), 189-195, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、5) 東京歯科大学歯周病学

医中誌 ID : N107290004

24308008 原著/臨床研究論文

古澤成博1)、細川壮平1)、藤波弘州2)、山下秀一郎3)

東京歯科大学水道橋病院における臨床専門専修科生プログラムに関するアンケート調査 特に歯科保存学系プログラムについて
歯科学報, 113(1), 69-76, 2013.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

医中誌 ID : 2013205954

原著/症例報告論文 1

24301001 原著/症例報告論文

Shibukawa Y1), Fujinami K1), Yamashita S2).

Clinical case report of long-term follow-up in type-2 diabetes patient with severe chronic periodontitis and nifedipine-induced gingival overgrowth.

Bull Tokyo Dent Coll, 53(2), 91-99, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

PubMed ID : 22790338

解説 1

24301008 解説

渋川義宏

インプラント周囲炎の原因をどう考えるか 細菌感染と過重負担の関係性

日本歯科評論, 73(1), 39-44, 2013.

東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存

学会発表・示説 6

24301002 学会発表・示説

松崎真衣1)、井田篤2)、藤波弘州3)、上島文江1)、齋藤淳4)

歯周基本治療と歯周組織再生療法が奏功した侵襲性歯周炎患者の一症例

日本歯周病学会誌, 54(春季特別号), 173, 2012.

第55回春季日本歯周病学会学術大会 札幌市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、4) 東京歯科大学歯周病学

医中誌 ID : 2012276416

24301003 学会発表・示説

松崎真衣1)、藤波弘州2)、高梨琢也3)、井田篤2)、上島文江1)、関根秀志4)、古澤成博3)、山下秀一郎5)、齋藤淳6)

侵襲性歯周炎に対して歯科衛生ケアが効果的であった一症例

歯科学報, 112(2), 173, 2012.

第293回東京歯科大学学会(例会) 千葉市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、5) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、6) 東京歯科大学歯周病学

医中誌 ID : 2012281977

24301006 学会発表・示説

Shibukawa Y1), Nikaido M2), Saito A3)

Long-term follow-up of regenerative therapy for generalized aggressive periodontitis.

日本歯周病学会誌, 54(3), 293, 2012.

第98回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会2012年大会 Los Angeles, USA

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、2) 東京歯科大学水道橋病院、3) 東京歯科大学歯周病学

24301007 学会発表・示説

増田勝実1)2)、藤波弘州3)、渋谷義宏3)

広汎型重度慢性歯周炎患者に歯周組織再生療法を含む包括的治療を行った一症例

日本歯周病学会誌, 54(春季特別号), 156, 2012.

第55回春季日本歯周病学会学術大会 札幌市

1) 福岡歯科、2) 東京歯科大学水道橋病院、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存

医中誌 ID : 2012276363

24302006 学会発表・示説

金井由起1)、久留島幸奈2)、渋谷義宏3)、三宅菜穂子1)、早川裕記2)、堀田宏巳1)、藤波弘州3)、細川壮平2)、古澤成博2)、山下秀一郎1)

水道橋病院総合歯科における学生臨床実習での一診療一質問への取り組み -歯学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応-
歯科学報, 112(2), 172, 2012.

第293回東京歯科大学学会(例会) 千葉市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存

24308006 学会発表・示説

Hayakawa H1), Fujinami K2), Saito A3).

Surgical periodontal therapy at Tokyo Dental College Suidobashi Hospital.

第98回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会2012年大会抄録集, 42, 2012.

第98回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会2012年大会 Los Angeles, USA

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学歯周病学

原著/原著論文 2

24302003 原著/原著論文

後藤東太1)、山下秀一郎2)、中塚佑介3)、新村弘子4)、片瀬剛士1)、杉田乃亮1)、堀田宏巳2)、伊藤充雄5)、溝口利英1)
新しいマイクロ波重合型義歯床用レジン重合法 (フィードバック重合法) の開発
日本補綴歯科学会誌, 4(2), 201-210, 2012.

1) 松本歯科大学顎口腔機能制御学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、3) 日本補綴歯科学会関西支部、4) 松本歯科大学歯科補綴学、5) 株式会社バイオマテリアル研究所

医中誌 ID : 2012265776

24302012 原著/原著論文

Miyake N1), Miura T2), Sato T3), Yoshinari M2).

Effect of zeta potentials on bovine serum albumin adsorption on crown composite resin surfaces in vitro.
J Biomed Sci Engin, 6, 273-276, 2013. 基盤研究 (C)

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、2) 東京歯科大学口腔科学研究センター・口腔インプラント学研究部門、3) 東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学
DOI : 10.4236/jbise.2013.63034

原著/臨床研究論文 6

24302001 原著/臨床研究論文

Kasahara T1), Yamashita S2), Nimura H1), Hotta H2), Tomida M3), Asanuma N3).

Newly designed gustatory test based on the number of chewing strokes required for recognition of the taste.
J Prosthodont Res, 56(3), 210-215, 2012.

1) 松本歯科大学歯科補綴学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、3) 松本歯科大学口腔生理学
DOI : 10.1016/j.jpor.2011.09.004 PubMed ID : 22104624

24302002 原著/臨床研究論文

Hotta H, Kanai Y, Yamashita S.

Repeated adjustment of new dentures for Dysphagia.

Bull Tokyo Dent Coll, 53(4), 173-180, 2012.

東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

PubMed ID : 23318922

24306014 原著/臨床研究論文

Saita N1), Fukuda K1), Koukita Y1), Ichinohe T2), Yamashita S3).

Relationship between gagging severity and its management in dentistry.

J Oral Rehabil, 40(2), 106-111, 2013.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴
DOI : 10.1111/joor.12014 PubMed ID : 23231041

24308007 原著/臨床研究論文

Hayakawa H1), Fujinami K2), Ida A2), Furusawa M1), Nikaido M3), Yamashita S4), Saito A5).

Clinical outcome of surgical periodontal therapy: A short-term retrospective study.

The Bulletin of Tokyo Dental College, (4), 189-195, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、5) 東京歯科大学歯周病学

医中誌 ID : N107290004

24308008 原著/臨床研究論文

古澤成博1)、細川壮平1)、藤波弘州2)、山下秀一郎3)

東京歯科大学水道橋病院における臨床専門専修科生プログラムに関するアンケート調査 特に歯科保存学系プログラムについて
歯科学報, 113(1), 69-76, 2013.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴
医中誌 ID : 2013205954

24308009 原著/臨床研究論文

Tanigawa Y1), Kasahara T2), Yamashita S3).

Location of main occluding areas and masticatory ability in patients with implant-supported prostheses.

Aust Dent J, 57(2), 171-177, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 松本歯科大学歯科補綴学、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

DOI : 10.1111/j.1834-7819.2012.01680.x PubMed ID : 22624757

原著/症例報告論文 2

24301001 原著/症例報告論文

Shibukawa Y1), Fujinami K1), Yamashita S2).

Clinical case report of long-term follow-up in type-2 diabetes patient with severe chronic periodontitis and nifedipine-induced gingival overgrowth.

Bull Tokyo Dent Coll, 53(2), 91-99, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

PubMed ID : 22790338

24302011 原著/症例報告論文

Hotta H.

Case report of difficult dental prosthesis insertion due to severe gag reflex.

Bull Tokyo Dent Coll, 53(3), 133-139, 2012.

東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

PubMed ID : 23124303

単行図書 (分担) 4

24302008 単行図書 (分担)

山下秀一郎

29. どうして入れ歯をしても歯ぐきは痩せてくるのだろうか？

新・口腔の生理からどうしてを解く, 122-125, 2012.

株式会社デンタルダイヤモンド社 東京都千代田区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

24302009 単行図書 (分担)

山下秀一郎

主訴を読み取る

患者に喜ばれるパーシャルデンチャー, 19-22, 2012.

株式会社デンタルダイヤモンド社 東京都千代田区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

24302014 単行図書 (分担)

山下秀一郎

30. どうして義歯で口蓋を覆って大丈夫な人と駄目な人がいるのだろうか？

新・口腔の生理からどうしてを解く, 126-129, 2012.

株式会社デンタルダイヤモンド社 東京都千代田区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

24302015 単行図書 (分担)

堀田宏巳、山下秀一郎

セルフメンテナンスを成功させる秘訣

患者に喜ばれるパーシャルデンチャー, 104-108, 2012.

株式会社デンタルダイヤモンド社 東京都千代田区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

学会発表・口演 2

24302004 学会発表・口演

清水麻理子1)、金井由起2)、堀田宏巳2)、片田英憲3)、山下秀一郎2)

咬合の再構成時に有用な咬合分析法の提案 - 下顔面高に対する検討 -

日本補綴歯科学会誌, 4(121回特別号), 122, 2012.

日本補綴歯科学会第121回学術大会 横浜市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正

24308004 学会発表・口演

山本真志1)、野平明彦1)、瓜田雄一郎1)、山下秀一郎2)

当院における初診患者に関する調査 - 来院動機と口腔関連QOLとの関連について -

日本補綴歯科学会誌, 4(121回特別号), 130, 2012.

日本補綴歯科学会第121回学術大会 横浜市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

学会発表・示説 7

24301003 学会発表・示説

松崎真衣1)、藤波弘州2)、高梨琢也3)、井田篤2)、上島文江1)、関根秀志4)、古澤成博3)、山下秀一郎5)、齋藤淳6)

侵襲性歯周炎に対して歯科衛生ケアが効果的であった一症例

歯科学報, 112(2), 173, 2012.

第293回東京歯科大学学会(例会) 千葉市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、5) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、6) 東京歯科大学歯周病学

医中誌 ID: 2012281977

24302005 学会発表・示説

三宅菜穂子1)、西田茜2)、山下秀一郎1)

局部義歯にアダムスクラスプを応用した唇顎口蓋裂症例

日本補綴歯科学会誌, 4(121回特別号), 288, 2012.

日本補綴歯科学会第121回学術大会 横浜市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科

24302006 学会発表・示説

金井由起1)、久留島幸奈2)、澁川義宏3)、三宅菜穂子1)、早川裕記2)、堀田宏巳1)、藤波弘州3)、細川壮平2)、古澤成博2)、山下秀一郎1)

水道橋病院総合歯科における学生臨床実習での一診療一質問への取り組み - 歯学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応 -

歯科学報, 112(2), 172, 2012.

第293回東京歯科大学学会(例会) 千葉市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存

24302013 学会発表・示説

Miyake N1), Sato T2), Tomita Y3), Yoshinari M4).

Effect of zeta potentials on bovine serum albumin adsorption to crown composite resin surfaces in vitro.

World Congress on Oleo Science & 29th ISF Congress-JOCS/AOCS/KOCS/ISF Joint Meeting, Abstract, 53, 2012.

World Congress on Oleo Science & 29th ISF Congress-JOCS/AOCS/KOCS/ISF Joint Meeting 佐世保市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、2) 東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学、3) 神奈川県、4) 東京歯科大学口腔科学研究センター・口腔インプラント学研究部門、

24304005 学会発表・示説

海老原環1)、宮崎晴代2)、山上美樹3)、関根秀志4)、高野正行5)、長谷部利一6)、片田英憲2)、末石研二7)

外科的矯正治療とインプラント補綴を行った成人Down症候群の一例

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 276, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 亀田クリニック歯科センター、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、5) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、6) 東京都、7) 東京歯科大学歯科矯正学

医中誌 ID : 2013063813

24307002 学会発表・示説

関根秀志1)、西田茜1)、松崎文頼1)、古屋克典1)、高梨琢也1)、田口達夫1)、山下秀一郎2)

インプラント療法を希望した患者の臨床調査

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 262, 2013.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

24308003 学会発表・示説

西田茜1)、松崎文頼2)、古屋克典2)、関根秀志2)、山下秀一郎3)

インプラント療法を希望した患者の臨床調査 過去2年間の調査結果の比較

日本口腔インプラント学会誌, 25(特別号), 266, 2012.

第42回日本口腔インプラント学会・学術大会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

医中誌 ID : 2013093541

原著/臨床研究論文 2

24201046 原著/臨床研究論文

村上正治1)、渡邊裕1)、枝広あや子1)、西久保周一1)、佐藤一道1)2)、山内智博3)、神山勲4)、吉野文浩5)、小坂橋俊哉6)、外木守雄7)、山根源之8)、片倉朗1)2)

口腔がん患者への集学的な精神医学的ケア

歯科学報, 112(4), 469-474, 2012.

1) 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学、2) 東京歯科大学口腔がんセンター、3) 東京歯科大学口腔外科学、4) 東京都多摩総合医療センター歯科口腔外科、5) 東京歯科大学市川総合病院精神科、6) 東京歯科大学市川総合病院麻酔科、7) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、8) 東京歯科大学
医中誌 ID : 2013124474

24303016 原著/臨床研究論文

菅原圭亮1)、伊藤和宏1)、高野正行1)、高久勇一朗1)、横山葉子1)、笠原清弘1)、久保周平2)、大多和由美3)

東京歯科大学水道橋病院における全身麻酔下での上顎正中過剰埋伏歯抜歯の臨床統計的検討

日本口腔診断学会雑誌, 26(1), 46-52, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科
医中誌 ID : 2013205506

原著/症例報告論文 5

24303008 原著/症例報告論文

本橋佳子1)、高崎義人1)2)、小川千晴3)、柴野正康1)、半田俊之4)、稲川元明1)、高野正行2)

下顎智歯抜歯時の舌神経損傷に対し神経縫合を行った1例

日本口腔診断学会雑誌, 25(3), 257-262, 2012.

1) 国立病院機構高崎総合医療センター歯科口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、3) 東京都駒込病院歯科口腔外科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔
医中誌 ID : 2013043141

24303009 原著/症例報告論文

高崎義人1)、高野正行2)、山村哲生2)、田口達夫3)、笠原正貴4)、橋本貞充5)

インプラントによる下歯槽神経損傷に対し大耳介神経移植を行った1例

日本口腔外科学会雑誌, 58(10), 581-585, 2012.

1) 国立病院機構高崎総合医療センター歯科口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、4) 慶應義塾大学医学部医化学、5) 東京歯科大学生生物学
医中誌 ID : 2013095105

24303013 原著/症例報告論文

高山裕樹、納賀優三、山村哲生、高久勇一朗、秋元義次、横山葉子、笠原清弘、高野正行

東京歯科大学水道橋病院手術室における3年間の口腔外科手術症例の臨床的検討

歯科学報, 6(742), 746, 2012.

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科
医中誌 ID : 2013163631

24303014 原著/症例報告論文

Takano M1), Kasahara K1), Ogawa C1), Katada H2), Sueishi K3).

A case of Sotos syndrome treated with distraction osteogenesis in maxilla and mandible.

Bull Tokyo Dent Coll, 53(2), 75-82, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京歯科大学歯科矯正学
DOI : 10.2209/tdcpublish.53.75 PubMed ID : 22790336

24303015 原著/症例報告論文

Takano M1), Kasahara K1), Matsui S1), Ogawa C1), Matsuzaka K2).

A case of mucoepidermoid carcinoma associated with maxillary cyst.

Bull Tokyo Dent Coll, 53(5), 119-125, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学臨床検査病理学
PubMed ID : 23124301

解説 2

24303007 解説

高野正行

顎変形症の標準手術 顎変形症の標準治療 下顎枝矢状分割法

日本口腔外科学会雑誌, 58(9), 502-506, 2012.

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

医中誌 ID : 2013038824

24303030 解説

菅原圭亮、柯文昌

口腔扁平上皮癌におけるCRISP3遺伝子のコピー数異常

歯科学報, 112(6), 30-33, 2013.

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

学会発表・口演 7

24105038 学会発表・口演

薬師寺孝1)、菅原圭亮2)、渡部幸央1)、関根理予1)、野村武史1)、高野伸夫1)、柴原孝彦1)、片倉朗3)

地域歯科医師会と共同で行ってきた口腔がん検診20年間の実績

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 635, 2012.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔外科学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、3) 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科

医中誌 ID : 2013031103

24201001 学会発表・口演

野口沙希1)、鈴木大貴1)、金美良1)、栗原絹枝1)、吉田佳史1)、伊川裕明1)、齋藤寛一1)、山科光正1)、齋藤朋愛1)、吉田恭子1)、佐藤一道2)、外木守雄3)、片倉朗1)2)、田中陽一4)、山根源之1)、岸田剛5)、長谷川勝5)

口腔がんの早期発見の現状 千葉県市川市地域連携開業歯科医院との関係

日本口腔科学会雑誌, 62(1), 86, 2013.

第66回日本口腔科学会学術集会 広島市

1) 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学、2) 東京歯科大学口腔がんセンター、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、4) 東京歯科大学市川総合病院臨床検査科、5) 市川市歯科医師会

医中誌 ID : 2013276628

24201002 学会発表・口演

大石晶子1)、山科光正1)、野口沙希1)、齋藤朋愛1)、吉田恭子1)、佐藤一道2)、外木守雄3)、山根源之1)、田中陽一4)、山本剛5)、美島健二5)、立川哲彦6)、片倉朗1)

舌癌と周囲上皮性異形成における層別評価 擦過細胞診の診断能力向上のために

日本口腔科学会雑誌, 62(1), 96, 2013.

第66回日本口腔科学会学術集会 広島市

1) 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学、2) 東京歯科大学口腔がんセンター、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、4) 東京歯科大学市川総合病院臨床検査科、5) 昭和大学歯学部口腔病理学、6) 昭和大学口腔癌包括的研究センター

医中誌 ID : 2013276654

24219006 学会発表・口演

山内智博1)、齋藤朋愛2)、野口沙希2)、佐藤一道1)、山本信治1)、石崎 憲1)3)、高野正行1)4)、片倉朗1)2)、高野伸夫1)5)、柴原孝彦1)5)

東京歯科大学口腔がんセンター5年間の活動報告

歯科学報, 112(4), 547, 2012.

第294回東京歯科大学学会（総会） 千葉市

1) 東京歯科大学口腔がんセンター、2) 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学、3) 東京歯科大学有床義歯補綴学、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、5) 東京歯科大学口腔外科学

医中誌 ID : 2013124508

24303012 学会発表・口演

吉田幸平、高野正行、笠原清弘、横山葉子、秋元善次、高久勇一朗、濱田裕嗣
東京歯科大学水道橋病院における最近5年間の顎矯正手術患者の臨床統計的検討
歯科学報, 112(4), 545, 2012.

第294回東京歯科大学学会(総会) 千葉市

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

医中誌 ID : 2013124505

24303017 学会発表・口演

山村哲生1)、笠原清弘1)、高崎義人1)2)、高野正行1)

インプラントによる下歯槽神経損傷に対し、頸横神経のケーブルグラフトを行った1例

日本口腔科学会雑誌, 62(1), 71, 2013.

第66回日本口腔科学会学術集会 広島市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 国立病院機構高崎総合医療センター歯科口腔外科

医中誌 ID : 2013276584

24303023 学会発表・口演

古瀬健、菅原圭亮、高山裕樹、高久勇一朗、横山葉子、笠原清弘、高野正行

口腔外科手術におけるデンブロン由来吸収性局所止血剤の使用経験

第194回日本口腔外科学会関東支部学術集会プログラム・抄録集, 21, 2012.

第194回日本口腔外科学会関東支部学術集会 東京都板橋区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

学会発表・示説 18

24201006 学会発表・示説

片倉朗1)、山内智博2)、高山裕樹3)、笠原清弘3)、山根源之1)

カテキンは口腔がんの発生を抑制するか?

日本抗加齢医学会総会プログラム・抄録集12回, 208, 2012.

第12回日本抗加齢医学会総会 横浜市

1) 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学、2) 東京歯科大学口腔外科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

医中誌 ID : 2012309442

24201036 学会発表・示説

金美良1)、佐藤一道2)、山本信治2)、山内智博2)、高野正行4)、田中陽一3)、片倉朗1)2)、柴原孝彦2)5)

口腔扁平上皮癌切除後に非典型的な頸部リンパ節転移をきたした2例

第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 211, 2013.

第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 東京都千代田区

1) 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学、2) 東京歯科大学口腔がんセンター、3) 東京歯科大学市川総合病院臨床検査科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、5) 東京歯科大学口腔外科学

24201041 学会発表・示説

Matsuhira A1), Yamashina M1), Noguchi S1), Saito T1), Yoshida K1), Sato K2), Tonogi M3), Yamane G1), Tanaka Y4), Yamamoto G5), Mishima K5), Tachikawa T6), Katakura A.1)2)

Evaluation of the features of tongue carcinoma and of the surrounding epithelial dysplasia in different layers for improvement of the diagnostic ability of oral exfoliative cytodiagnosis.

94th 2012 Annual Meeting in Sandiego, AAOMS Program, 2012.

94th 2012 Annual Meeting in Sandiego, American Association of Oral and Maxillofacial Surgeons San Diego, USA

1) 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学、2) 東京歯科大学口腔がんセンター、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、4) 東京歯科大学市川総合病院臨床検査科、5) 昭和大学歯学部口腔病理学、6) 昭和大学口腔癌包括的研究センター

24219005 学会発表・示説

山本信治1)、佐藤一道1)、山内智博1)、石崎憲2)、野口沙希3)、高野正行4)、高野伸夫5)、田中陽一6)、片倉朗3)、柴原孝彦1)5)
当センターにおける口腔癌の臨床統計

第31回日本口腔腫瘍学会総会プログラム抄録集, 225, 2012.

第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 東京都千代田区

1) 東京歯科大学口腔がんセンター、2) 東京歯科大学有床義歯補綴学、3) 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、5) 東京歯科大学口腔外科学、6) 東京歯科大学市川総合病院臨床検査科

24303003 学会発表・示説

山本雅絵1)、高野正行1)、高木多加志2)、内山健志2)、高野伸夫2)、柴原孝彦2)

顔面の対称性に関する不正咬合患者の主観的評価とアンケート調査 (第2報)

日顎変形誌, 22(2), 188, 2012.

第22回日本顎変形症学会総会・学術大会 福岡市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔外科学

医中誌 ID : 2012325789

24303004 学会発表・示説

Takano M, Kasahara K, Yokoyama Y.

Usefulness of 3DHD movie for surgical practices and medical educations.

10th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgeons, Program & Abstracts, 255, 2012.

10th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgeons Bali, Indonesia

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

24303005 学会発表・示説

Hamada Y, Takano M, Kasahara K, Yokoyama Y, Akimoto Y, Sugahara K, Yamamura T.

Evaluation of clinical path of orthognathic surgery in 9 years.

10th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgeons, Program & Abstracts, 250, 2012.

10th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgeons Bali, Indonesia

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

24303006 学会発表・示説

Takasaki Y1)2), Takano M2), Yamamura T2), Hagiwara R1), Shibano M1), Inagawa M1)

A case of the greater auricular nerve grafting for dental implant induced inferior alveolar nerve damage.

10th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgeons, Program & Abstracts, 238-238, 2012.

10th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgeons Bali, Indonesia

1) 国立病院機構高崎総合医療センター歯科口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

24303018 学会発表・示説

横山葉子、岩井舞美、濱田裕嗣、山村哲生、高山裕樹、高久勇一朗、秋元善次、笠原清弘、高野正行

Le Fort I型骨切り術における吸収性プレートとチタンプレート骨固定の臨床的検討

日本口腔外科学会雑誌, 58(suppl), 223, 2012.

第57回日本口腔外科学会総会・学術大会 横浜市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

24303019 学会発表・示説

高崎義人1)2)、濱田裕嗣2)、萩原僚一1)3)、柴野正康1)4)、稲川元明1)、高野正行2)

下顎大白歯抜歯時の舌神経損傷に対して神経縫合術を行った1例

日本口腔外科学会雑誌, 58(suppl), 287, 2012.

第57回日本口腔外科学会総会・学術大会 横浜市

1) 国立病院機構高崎総合医療センター歯科口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、3) 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科、4) 東京歯科大学口腔外科学

24303020 学会発表・示説

菅原圭亮1)、小郷直之2)、廣田雅幸2)、山本雅恵2)、高木多加志2)、高野伸夫2)、柴原孝彦2)、笠原清弘1)、高野正行1)

口腔外科領域における硬組織切削用超音波メスの使用経験

日本口腔外科学会雑誌, 58(suppl), 297, 2012.

第57回日本口腔外科学会総会・学術大会 横浜市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔外科学

24303021 学会発表・示説

牧野盛太郎1)、高野正行1)、笠原清弘1)、伊藤和宏1)、関根秀志2)、松崎文頼2)、高梨琢也2)

腸骨移植によるサイナスリフトの長期経過症例の臨床的検討

顎顔面インプラント学会誌, 11(3), 228, 2012.

第16回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 北九州市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント

24303022 学会発表・示説

伊藤和宏1)、牧野盛太郎1)、笠原清弘1)、高野正行1)、関根秀志2)、高崎義人1)3)

口腔インプラントの術後併発症により当科を受診した症例の臨床的検討

顎顔面インプラント学会誌, 11(3), 182, 2012.

第16回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 北九州市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、3) 国立病院機構高崎総合医療センター歯科口腔外科

24303025 学会発表・示説

高久勇一朗、羽鳥友子、濱田裕嗣、山村哲生、横山葉子、笠原清弘、高野正行

口腔領域の血管腫に対する凍結外科療法の治療経験

第31回日本口腔腫瘍学会総会プログラム・抄録集, 205, 2013.

第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 東京都千代田区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

24303026 学会発表・示説

高山裕樹1)、羽鳥友子1)、菅原圭亮1)、高久勇一朗1)、高野正行1)、片倉朗2)3)、柴原孝彦3)4)、松坂賢一5)、大山定男6)、内田育宏6)

当科における口腔扁平上皮癌T1・T2症例の臨床統計学的検討

第31回日本口腔腫瘍学会総会プログラム・抄録集, 206, 2013.

第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 東京都千代田区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学、3) 東京歯科大学口腔がんセンター、4) 東京歯科大学口腔外科学、5) 東京歯科大学臨床検査病理学、6) 都立駒込病院がん感染症センター

24303027 学会発表・示説

岩井舞美1)、高野正行1)、笠原清弘1)、横山葉子1)、高久勇一朗1)、菅原圭亮1)、松坂賢一2)

当科における過去5年の角化嚢胞性歯源性腫瘍の臨床統計的検討

第31回日本口腔腫瘍学会総会プログラム・抄録集, 227, 2013.

第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 東京都千代田区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学臨床検査病理学

24303028 学会発表・示説

羽鳥友子1)、高山裕樹1)、菅原圭亮1)、高久勇一朗1)、高野正行1)2)、片倉朗2)3)、柴原孝彦2)4)、松坂賢一5)

口腔扁平上皮癌T1, T2における細胞診の臨床統計学的検討

第31回日本口腔腫瘍学会総会プログラム・抄録集, 228, 2013.

第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 東京都千代田区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔がんセンター、3) 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学、4) 東京歯科大学口腔外科学、5) 東京歯科大学臨床検査病理学

24304005 学会発表・示説

海老原環1)、宮崎晴代2)、山上美樹3)、関根秀志4)、高野正行5)、長谷部利一6)、片田英憲2)、末石研二7)

外科的矯正治療とインプラント補綴を行った成人Down症候群の一例

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 276, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 亀田クリニック歯科センター、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、5) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、6) 東京都、7) 東京歯科大学歯科矯正学

医中誌 ID : 2013063813

学会発表・ビデオセッション 1

24303024 学会発表・ビデオセッション

高野正行

粘膜表在性癌や早期浸潤癌の部分切除術

第31回日本口腔腫瘍学会総会プログラム・抄録集, 121, 2013.

第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 東京都千代田区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科

原著/臨床研究論文 2

24304002 原著/臨床研究論文

Miyazaki H, Katada H, Ichinokawa Y, Hirabayashi S, Sueishi K.

Orthodontic treatment in combination with Le Fort II bone distraction in patient with Apert syndrome.

Bull Tokyo Dent Coll, 54(1), 9-17, 2013.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、2) 帝京大学医学部口腔外科、3) 東京歯科大学歯科矯正学

PubMed ID : 23614948

24304003 原著/臨床研究論文

宮崎晴代1)、堀江由規子1)、辻野啓一郎1)、小坂竜也1)、海老原環1)、片田英憲1)、末石研二

Down症候群の咬合状態と頭蓋顔面形態について

Orthodontic Waves-Japanese Edition, 72(1), 10-16, 2013.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、2) 東京歯科大学歯科矯正学

医中誌 ID : 2013170678

原著/症例報告論文 5

24105011 原著/症例報告論文

伊藤亜希1)、大平貴士1)、重政理香2)、八木澤潤子1)、成田真人2)、市川秀樹1)、片田英憲3)、松崎英雄4)、末石研二5)、田中潤一1)

骨延長に工夫を加えて非対称の改善を行ったHemifacial microsomiaの1例

日本顎変形症学会雑誌, 22(1), 37-44, 2012.

1) 東京都立大塚病院口腔科、2) 東京歯科大学口腔外科学、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、4) 東京都立墨東病院歯科口腔外科、5) 東京歯科大学歯科矯正学

医中誌 ID : 2012237528

24303011 原著/症例報告論文

高久勇一郎1)、高野正行1)、横山葉子1)、牧野正志2)、宮崎晴代2)

小児用口腔内ディストラクターを用いて下顎骨延長を行った成人小下顎症の治療経験

歯科学報, 112(4), 492-500, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正

医中誌 ID : 2013124477

24303014 原著/症例報告論文

Takano M1), Kasahara K1), Ogawa C1), Katada H2), Sueishi K3).

A case of Sotos syndrome treated with distraction osteogenesis in maxilla and mandible.

Bull Tokyo Dent Coll, 53(2), 75-82, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京歯科大学歯科矯正学

DOI : 10.2209/tdcpublication.53.75 PubMed ID : 22790336

24304001 原著/症例報告論文

岩田直晃1)、野嶋邦彦1)、西井康2)、村松恭太郎3)、高野伸夫3)、末石研二2)

先端巨大症に伴う骨格性下顎前突症に対して舌縮小術を併用した外科的矯正治療例

日本顎変形症学会雑誌, 22(1), 28-36, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、2) 東京歯科大学口腔外科学、3) 東京歯科大学歯科矯正学

DOI : 10.5927/jjcd.22.28 医中誌 ID : 2012237527

24304007 原著/症例報告論文

Katada H1), Terakado K2), Sueishi K3).

Case reports of orthodontic treatment of maxillary central incisors with short roots.

Bull Tokyo Dent Coll, 53(4), 163-171, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、2) たらか矯正歯科、3) 東京歯科大学歯科矯正学

PubMed ID : 23318921

学会発表・口演 3

24109036 学会発表・口演

水枝谷彬代1)、飯塚美穂2)、野村真弓1)、茂木悦子1)、飯島由貴1)、齋藤晶子3)、大久保真衣4)、末石研二1)
超音波診断装置を用いた開咬症例における安静時舌位の客観的評価

MFT研究会会誌, 2(1), 34-35, 2013.

第11回日本口腔筋機能療法研究会大会 東京都渋谷区

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) アルファ矯正歯科クリニック、4) 東京歯科大学千葉病院摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科

医中誌 ID : 2013273126

24109064 学会発表・口演

立木千恵1)、西井康1)、小坂竜也2)、根津崇3)、野嶋邦彦1)、高木多加志4)、末石研二1)

歯列正中と下顎正中に偏位がある顔面非対称症例

日本顎変形症学会雑誌, 22(2), 134, 2012.

第22回日本顎変形症学会総会・学術大会 福岡市

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 根津矯正歯科クリニック、4) 東京歯科大学口腔外科学

医中誌 ID : 2012325685

24302004 学会発表・口演

清水麻理子1)、金井由起2)、堀田宏巳2)、片田英憲3)、山下秀一郎2)

咬合の再構成時に有用な咬合分析法の提案 - 下顔面高に対する検討 -

日本補綴歯科学会誌, 4(121回特別号), 122, 2012.

日本補綴歯科学会第121回学術大会 横浜市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正

学会発表・示説 16

24109006 学会発表・示説

小林弘史1)、諸星貴大1)、斉藤裕香1)、田草川舞1)、村瀬千明1)、飯塚美穂2)、須田永子2)、植木亮和3)、田口奈央子3)、松浦彰子3)、西井康1)、末石研二1)

卒後研修課程第35期生による症例展示

歯科学報, 112(4), 555, 2012.

第294回東京歯科大学学会(総会) 千葉市

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京都

24109007 学会発表・示説

諸星貴大1)、小林弘史1)、斉藤裕香1)、田草川舞1)、村瀬千明1)、飯塚美穂2)、須田永子2)、植木亮和3)、田口奈央子3)、松浦彰子3)、西井康1)、末石研二1)

卒後研修課程35期生による症例展示 - リテンションケース -

歯科学報, 112(4), 556, 2012.

第294回東京歯科大学学会(総会) 千葉市

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京都

24109011 学会発表・示説

小林弘史1)、遠藤隆行2)、内田悠志3)、澁川義幸2)、田崎雅和2)、末石研二1)

骨芽細胞カルシウムイオンチャネルに対するインターロイキン 1β および 6 の修飾作用

歯科学報, 112(4), 558, 2012.

第294回東京歯科大学学会(総会) 千葉市

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学生理学、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正

24109015 学会発表・示説

Nojima K1), Makino M2), Choi YY3), Nishii Y1), Sueishi K1).

Characteristics of dentoskeletal morphology and treatment changes in 2-maxillary premolar extraction.

45th Annual Scientific Congress Korean Association of Orthodontics, Program & Abstracts, 181, 2012.

45th Annual Scientific Congress Korean Association of Orthodontics ソウル、韓国

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) Seoul Arte Dental Clinic, Seoul, Korea

24109018 学会発表・示説

水枝谷彬代1)、飯塚美穂2)、野村真弓1)、茂木悦子1)、飯島由貴1)、齋藤晶子3)、大久保真衣4)、末石研二1)

開咬患者における安静位舌位の客観的評価 ―超音波診断装置と固定用クッションを用いて―

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 148, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) アルファ矯正歯科クリニック、4) 東京歯科大学千葉病院摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科

24109025 学会発表・示説

村瀬千明1)、松浦彰子5)、田草川舞1)、齋藤裕香1)、小林弘史1)、諸星貴大1)、植木亮和3)、須田永子2)、飯塚美穂2)、田口奈央子4)、西井康1)、末石研二1)

卒後研修課程第35期生による症例展示

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 267, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 田村矯正歯科、4) 渡辺矯正歯科、5) 吉井矯正歯科クリニック

24109026 学会発表・示説

諸星貴大1)、小林弘史1)、齋藤裕香1)、田草川舞1)、村瀬千明1)、飯塚美穂2)、須田永子2)、植木亮和3)、吉田奈央子4)、松浦彰子5)

卒後研修課程35期生による症例展示 ―リテンションケース―

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 267, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 田村矯正歯科、4) 渡辺矯正歯科、5) 吉井矯正歯科クリニック

24109031 学会発表・示説

Motegi E1), Nomura M1), Miyazaki H2), Sueishi K1).

Salivary characteristics of elderly with many remaining teeth.

91st General Session & Exhibition of the IADR, Program Book, 2013.

91st General Session and Exhibition of The International Association for Dental Research Seattle, USA

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正

24109038 学会発表・示説

茂木悦子1)、野村真弓1)、宮崎晴代2)、金子綾1)、坂本輝雄1)、末石研二、眞木吉信3)、大久保剛4)

咬合の安定している高齢多数歯保有者の唾液の症状

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 255, 2012.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京歯科大学社会歯科学、4) 東京歯科大学千葉病院内科

24109047 学会発表・示説

向井美弥1)、吉住純1)、石井武展1)、坂本輝雄1)、宮崎晴代2)、野嶋邦彦1)、末石研二1)

片側性唇顎口蓋裂患者の動的矯正治療終了後の咬合状態について

日本口蓋裂学会雑誌, 38(2), 232, 2013.

第36回日本口蓋裂学会総会・学術集会 京都府

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正

24304004 学会発表・示説

宮崎晴代1)、大多和由美2)、片田英憲1)、末石研二3)

乳歯列期に下顎歯列を拡大した下顎の側方偏位症例

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 282, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科、3) 東京歯科大学歯科矯正学

24304005 学会発表・示説

海老原環1)、宮崎晴代2)、山上美樹3)、関根秀志4)、高野正行5)、長谷部利一6)、片田英憲2)、末石研二7)

外科的矯正治療とインプラント補綴を行った成人Down症候群の一例

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 276, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 亀田クリニック歯科センター、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、5) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、6) 東京都、7) 東京歯科大学歯科矯正学

医中誌 ID: 2013063813

24304014 学会発表・示説

宮田香織1)、岩田周子1)、関口あゆみ1)、牧野正志2)、内田悠志2)、小坂竜也2)、宮崎晴代2)、片田英憲2)、末石研二3)、古澤成博1)

本格矯正治療患者における歯磨きに関するアンケート調査

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 234, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京歯科大学歯科矯正学

24304015 学会発表・示説

須田永子1)、野村真弓2)、茂木悦子2)、飯島由貴2)、石井武展2)、小泉友里子2)、林真理子2)、末石研二2)、河野みち代3)、柳沢幸江3)

Dental Prescaleを用いた矯正治療後の咬合力における前向き研究

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 231, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、2) 東京歯科大学歯科矯正学、3) 和洋女子大学家政学部総合生活研究科

24304016 学会発表・示説

須田永子1)、野村真弓2)、茂木悦子2)、石井武展2)、小泉友里子3)、林真理子4)、末石研二2)

デンタルプレスケール®を用いた矯正治療前後の咬合力における前向き研究

歯科学報, 112(2), 172, 2012.

第293回東京歯科大学学会(例会) 千葉市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、2) 東京歯科大学歯科矯正学、3) 埼玉県、4) 千葉県

24304017 学会発表・示説

関口あゆみ1)、岩田周子1)、上島文江1)、内田悠志2)、小坂竜也2)、宮崎晴代2)、片田英憲2)、末石研二3)、古澤成博1)

歯科衛生士養成機関学生における矯正歯科に対する意識調査

歯科学報, 112(2), 173, 2012.

第293回東京歯科大学学会(例会) 千葉市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京歯科大学歯科矯正学

学会発表・シンポジウム 1

24304009 学会発表・シンポジウム

宮崎晴代

第40回記念フォーラム：市民セミナーで伝えたいこと

第40回日本臨床矯正歯科医会大会プログラム・抄録集, 16, 2012.

第40回日本臨床矯正歯科医会大会 東京都千代田区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正

学会発表・教育講演 1

24304008 学会発表・教育講演

宮崎晴代

保険適応になっている先天性疾患の矯正治療について

アレキサンダー研究会会誌, 27, 25-29, 2012.

第27回アレキサンダー研究会例会 大阪市

東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正

原著/臨床研究論文 2

24303016 原著/臨床研究論文

菅原圭亮1)、伊藤和宏1)、高野正行1)、高久勇一朗1)、横山葉子1)、笠原清弘1)、久保周平2)、大多和由美3)

東京歯科大学水道橋病院における全身麻酔下での上顎正中過剰埋伏歯抜歯の臨床統計的検討

日本口腔診断学会雑誌, 26(1), 46-52, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科
医中誌 ID : 2013205506

24305002 原著/臨床研究論文

Ohtawa Y1), Tsujino K2), Kubo S2), Ikeda M1).

Dental treatment of physically or mentally challenged patients under general anesthesia at Tokyo Dental College Suidobashi hospital.

Bull Tokyo Dent Coll, 53(4), 181-187, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科
DOI : 10.2209/tdcpublishation.53.181 PubMed ID : 23318923

解説 2

24305011 解説

大多和由美1)2)

小児における修復治療 -診査・診断から修復までのポイント-

日本歯科医師会雑誌, 66(1付録), 6-9, 2013.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科
医中誌 ID : 2013211063

24501067 解説

佐藤正樹1)、陽田みゆき2)、津村麻記1)3)、Sobhan Ubaidus1)、澁川義幸1)3)

歯科医学の古きをたずねて新しきを知る 第2回 歯内療法薬剤の作用機序

日本歯科評論, 844(73), 149-151, 2013. 若手研究(B)

1) 東京歯科大学口腔科学研究センター、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科学、3) 東京歯科大学生理学

単行図書 (分担) 2

24305012 単行図書 (分担)

大多和由美1)2)

V 過成長を主徴とする症候群 Sotos症候群

口から診える症候群・病気, 80-81, 2012.

口腔保健協会 東京都文京区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科

24305013 単行図書 (分担)

大多和由美1)2)

VIII 皮膚・毛髪・爪の異常を主徴とする症候群 Bloch-Sulzberger症候群,色素失調症

口から診える症候群・病気, 116-117, 2012.

口腔保健協会 東京都文京区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科

学会発表・口演 2

24305004 学会発表・口演

嶋田みゆき1)、津村麻記2)3)、佐藤正樹2)、Sobhan Ubaidus2)、山下秀一郎4)、田崎雅和3)、澁川義幸2)3)

グアヤコールは象牙芽細胞のCa²⁺チャネルに直接作用する

歯科学報, 112(4), 541, 2012.

第294回東京歯科大学学会(総会) 千葉市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、2) 東京歯科大学口腔科学研究センター・hrc8、3) 東京歯科大学生理学、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科
医中誌 ID : 2013124496

24306004 学会発表・口演

若林真由美1)、齋藤千晴1)、磯山素子1)、清野菜摘1)、上島文江1)、半田俊之2)、久保周平3)、古澤成博4)

歯科衛生士養成機関学生の臨床実習前後における医療安全に対する意識調査

歯科学報, 112(4), 552, 2012.

第294回東京歯科大学学会(総会) 千葉市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科
医中誌 ID : 2013124518

学会発表・示説 9

24109040 学会発表・示説

Sueishi K1), Suda E1), Tsujino K2), Shintani S3).

Left/Right difference in the timing of permanent tooth eruption.

88th EOS 2012 Program, 160, 2012.

88th EOS 2012 Santiago de Compostela, Spain

1) 東京歯科大学歯科矯正学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、3) 東京歯科大学小児歯科学

24305003 学会発表・示説

大多和由美1)2)、千葉緑3)、池田正一1)、前田憲昭4)

東京都および神奈川県エイズ拠点病院歯科治療に関するアンケート調査

日本エイズ学会誌, 14(4), 459, 2012.

第26回日本エイズ学会学術集会・総会 横浜市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、3) 東京都立駒込病院歯科口腔外科がん感染症センター、4) 皓歯会
医中誌 ID : 2013160220

24305005 学会発表・示説

松田恵里子1)2)、井上美津子2)、戸羽あずさ2)3)、久保周平4)

某肢知併設特別支援学校における摂食指導の取り組み

小児歯科学雑誌, 51(1), 60-61, 2013.

第27回日本小児歯科学会関東地方会大会・総会 東京都品川区

1) 松田歯科クリニック、2) 昭和大学歯学部小児成育歯科学、3) 戸羽歯科医院、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科
医中誌 ID : 2013278662

24305006 学会発表・示説

田昌文1)、久保周平2)

過剰歯により早期脱落した乳中切歯に対して行った歯科的対応・第2報

小児歯科学雑誌, 51(1), 61-62, 2013.

第27回日本小児歯科学会関東地方会大会・総会 東京都品川区

1) 田歯科医院、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科
医中誌 ID : 2013278664

24305007 学会発表・示説

嶋田みゆき1)、外木徳子2)、中川さとみ2)、新谷誠康3)

最近の小児の外傷傾向 -小児歯科専門医院を受診した外傷患者の実態調査-
小児歯科学雑誌, 51(1), 65, 2013.

第27回日本小児歯科学会関東地方会大会・総会 東京都品川区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、2) とのぎ小児歯科、3) 東京歯科大学小児歯科学
医中誌 ID : 2013278672

24305008 学会発表・示説

山頭亜里沙1)、小鹿裕子1)、荒井亮1)、岩田美奈子1)、浦野絢子1)、辻野啓一郎1)、嶋田みゆき1)、久保周平1)、大多和由美2)、
新谷誠康3)

大学病院小児歯科における萌出異常の実態調査

小児歯科学雑誌, 51(1), 66, 2013.

第27回日本小児歯科学会関東地方会大会・総会 東京都品川区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科、3) 東京歯科大学小児歯科
医中誌 ID : 2013278674

24305009 学会発表・示説

大多和由美1)、一戸小織2)、木村えり2)、久保周平2)

口腔内に露出した集合性歯牙腫が原因で萌出障害を呈した上顎第一大臼歯の対応
小児歯科学雑誌, 51(1), 66, 2013.

第27回日本小児歯科学会関東地方会大会・総会 東京都品川区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科
医中誌 ID : 2013278675

24305010 学会発表・示説

嶋田みゆき1)、大多和由美2)、関口浩3)4)、新谷誠康3)

神経芽腫治療後、永久歯に歯根形成障害が認められた小児患者2例の長期的観察
障害者歯科, 33(3), 532, 2012.

第29回日本障害者歯科学会総会および学術大会 札幌市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科、3) 東京歯科大学小児歯科、4) 茨城県身体障害者小児歯科治療センター
医中誌 ID : 2013261367

24305014 学会発表・示説

久保周平1)、辻野啓一郎1)、大多和由美2)

幼若永久歯の外傷後に発現する臨床的不快事項 特に根尖性歯周組織炎発症例について
第12回日本外傷歯学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 39, 2012.

第12回日本外傷歯学会総会・学術大会 瑞穂市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・障害者歯科
医中誌 ID : N515440026

学会発表・シンポジウム 2

24305001 学会発表・シンポジウム

久保周平

東日本大震災を体験して 小児歯科医ができること、小児歯科医だからできたこと
小児歯科学雑誌, 50(2), 63, 2012.

日本小児歯科学会大会第50回記念大会 東京都千代田区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科
医中誌 ID : 2012275968

24305015 学会発表・シンポジウム

久保周平

小児における歯の外傷

日本外傷歯学会雑誌, 8(1), 126, 2012.

日本外傷歯学会第2回東日本地方学術大会 東京都文京区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科

原著/臨床研究論文 3

24306013 原著/臨床研究論文

Moriyama A1)2), Nishizawa D1), Kasai S1), Hasegawa J1), Fukuda K2), Nagashima M2), Katoh R2), Ikeda K1).
Association between genetic polymorphisms of the β 1-adrenergic receptor and sensitivity to pain and fentanyl in patients undergoing painful cosmetic surgery.
J Pharmacol Sci, 121(1), 48-57, 2013.

1) 東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト、2) 東邦大学佐倉医学センター外科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔
PubMed ID : 23257656

24306014 原著/臨床研究論文

Saita N1), Fukuda K1), Koukita Y1), Ichinohe T2), Yamashita S3).
Relationship between gagging severity and its management in dentistry.
J Oral Rehabil, 40(2), 106-111, 2013.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴
DOI : 10.1111/joor.12014 PubMed ID : 23231041

24306016 原著/臨床研究論文

Fukuda K1), Ichinohe T2), Kaneko Y2).
Pain management for nerve injury following dental implant surgery at Tokyo Dental College hospital.
Int J Dent, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学
DOI : 10.1155/2012/209474 PubMed ID : 22899928

原著/症例報告論文 2

24303008 原著/症例報告論文

本橋佳子1)、高崎義人1)2)、小川千晴3)、柴野正康1)、半田俊之4)、稲川元明1)、高野正行2)
下顎智歯抜歯時の舌神経損傷に対し神経縫合を行った1例
日本口腔診断学会雑誌, 25(3), 257-262, 2012.

1) 国立病院機構高崎総合医療センター歯科口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、3) 東京都駒込病院歯科口腔外科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔
医中誌 ID : 2013043141

24306015 原著/症例報告論文

伊東哲1)2)、吉野英世1)、鳥居正雄3)、橋本賢二4)、福田謙一2)、高北義彦2)、一戸達也5)
インプラント体埋入後のオトガイ部感覚鈍麻に対し星状神経節ブロック30分後に異常な血圧上昇と不穏状態を発症した1症例
日本歯科麻酔学会雑誌, 40(2), 221-222, 2012.

1) 伊東歯科医院、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、3) 鳥居歯科医院、4) 聖隷浜松病院、5) 東京歯科大学歯科麻酔学
医中誌 ID : 2012278262

解説 2

24306018 解説

林田眞和1)、福田謙一2)、西澤大輔3)、池田和隆3)
遺伝子多型とオピオイド感受性 μ -オピオイド受容体遺伝子A118G多型を中心に
臨床麻酔, 36(11), 1591-1598, 2012.

1) 順天堂大学医学部麻酔科学・ベインクリニック、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、3) 東京都医学総合研究所
医中誌 ID : 2013128866

24306019 解説

林田眞和1)、福田謙一2)、西澤大輔3)、池田和隆3)
痛みを科学する 遺伝子 遺伝子多型が疼痛治療におけるオピオイド必要量に及ぼす影響 μ -オピオイド受容体遺伝子のA118G多型を中心として
Practice of Pain Management, 3(3), 174-177, 2012.

1) 順天堂大学医学部麻酔科学・ベインクリニック、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、3) 東京都医学総合研究所
医中誌 ID : 2012300807

学会発表・口演 13

24306002 学会発表・口演

本田至史1)、高北義彦1)、木村邦衛1)、半田俊之1)、福田謙一1)、一戸達也2)

鼻腔狭窄のために経鼻挿管に難渋した患者の全身麻酔敬虔

第29回関東臨書湯歯科麻酔懇話会抄録集, 2, 2012.

第29回関東臨床歯科麻酔懇話会 (日本歯科麻酔学会関東地方会) 東京都千代田区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学

24306004 学会発表・口演

若林真由美1)、齋藤千晴1)、磯山素子1)、清野菜摘1)、上島文江1)、半田俊之2)、久保周平3)、古澤成博4)

歯科衛生士養成機関学生の臨床実習前後における医療安全に対する意識調査

歯科学報, 112(4), 552, 2012.

第294回東京歯科大学学会 (総会) 千葉市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科

医中誌 ID: 2013124518

24306005 学会発表・口演

福田謙一1)、齋田菜緒子1)、庵原義明1)、半田俊之1)、大串圭太1)、坂本豊明1)、前納允1)、市川絢子1)、本田至史1)、吉田香織1)、一戸達也2)

「リラックス歯科治療外来」来院患者の分類と病態分析

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 647, 2012.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学

医中誌 ID: 2013031177

24306006 学会発表・口演

半田俊之1)、福田謙一1)、古澤成博2)、一戸達也3)、金子讓3)

原因不明とされる歯の痛みに対する歯科用コーンビームCTの有用性

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 667, 2012.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、3) 東京歯科大学歯科麻酔学

医中誌 ID: 2013031298

24306007 学会発表・口演

本田至史1)、半田俊之1)、木村邦衛1)、伊東哲1)、福田謙一1)、高北義彦1)、一戸達也2)

慢性化した神経障害性疼痛に対してトラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠が有効であった1例

日本歯科麻酔学会雑誌, 40(4), 486, 2012.

第40回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 福岡市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学

医中誌 ID: 2013047811

24306008 学会発表・口演

半田俊之1)、本田至史1)、福田謙一1)、高北義彦1)、一戸達也2)

慢性の口腔顔面痛に対するトラムセットの使用状況

日本歯科麻酔学会雑誌, 40(4), 467, 2012.

第40回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 福岡市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学

医中誌 ID: 2013047812

24306009 学会発表・口演

市川絢子1)、今井智明1)2)、瓜生和貴1)、田中梓1)、福田謙一3)、中村仁也2)、山本信一1)

挿管用ラリンジアルマスクが有用であったPierre Robin症候群の1症例

日本歯科麻酔学会雑誌, 40(4), 478, 2012.

第40回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 福岡市

1) 東京都立小児総合医療センター麻酔科、2) 日本歯科大学小児総合医療センター歯科麻酔科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔
医中誌 ID : 2013047795

24306010 学会発表・口演

坂本豊明1)、齋田菜緒子1)、福田謙一1)、高北義彦1)、一戸達也2)

嘔吐反射を有する患者の自律神経機能

日本歯科麻酔学会雑誌, 40(4), 470, 2012.

第40回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 福岡市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学
医中誌 ID : 2013047779

24306020 学会発表・口演

福田謙一1)、齋田菜緒子1)、一戸達也2)

歯科における嘔吐反射問題を有する患者の背景と管理方法

日本障害者歯科学会雑誌, 33(3), 444, 2012.

第29回日本障害者歯科学会総会および学術大会 札幌市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学

24306021 学会発表・口演

長束智晴1)、佐藤陽子2)、坂口由妃2)、太田志保2)、マイヤース三恵3)、福田謙一4)、佐野晴男3)、市川雄二1)

特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) 患者に、下顎智歯抜歯を行った一症例

日本障害者歯科学会雑誌, 33(3), 333, 2012.

第29回日本障害者歯科学会総会および学術大会 札幌市

1) 東京都保健医療公社豊島病院歯科口腔外科、2) 東京都保健医療公社豊島病院看護部、3) 昭和大学歯科病院地域連携歯科学、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔
医中誌 ID : 2013261169

24306022 学会発表・口演

山崎優1)、平山明1)、武田康1)、村田洋之1)、小峯久直1)、齊藤美紀1)、大森丈太郎1)、西内千明1)、齋藤浩1)、中津留誠1)、荻

原道1)、斉藤浩司1)、細井裕介1)、横山世明1)、武井祐一1)、藤本俊男1)、出川博美2)、谷村久美子2)、福田謙一3)、一戸達也4)

障害者 (児) 診療室に勤務している歯科衛生士へのアンケート

日本障害者歯科学会雑誌, 33(3), 323, 2012.

第29回日本障害者歯科学会総会および学術大会 札幌市

1) 千葉市歯科医師会、2) 千葉市保健医療事業団千葉市休日救急診療所、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、4) 東京歯科大学歯科麻酔学
医中誌 ID : 2013261159

24306023 学会発表・口演

福田謙一1)、青木謙典1)、西澤大輔2)、齋田菜緒子1)、高北義彦1)、林田眞和3)、一戸達也4)、池田和隆2)、

重篤な有害作用回避のための個別化医療 テーラーメイド疼痛治療を開始して

臨床薬理, 43(Suppl), S181, 2012.

第33回日本臨床薬理学会学術集会 沖縄市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京都医学総合研究所、3) 順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック、2) 東京歯科大学歯科麻酔学
医中誌 ID : 2013160345

24306024 学会発表・口演

福田謙一1)、本田至史1)、半田俊之1)、一戸達也2)

当センターにおけるトラムセット配合錠の使用状況

第17回日本口腔顔面痛学会・学術大会プログラム・抄録集, 43, 2012.

第17回日本口腔顔面痛学会・学術大会 東京都新宿区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学

学会発表・示説 2

24306003 学会発表・示説

Handa T1), Fukuda K1), Ichinohe T2), Kaneko Y2).

Pregabalin is effective for patients with myogenic temporomandibular disorders.

90th General Session & Exhibition of the IADR, Program Book, 2012.

90th General Session and Exhibition of The International Association for Dental Research Iguacu Falls, Brazil

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学歯科麻酔学

24306011 学会発表・示説

吉田香織1)、野村麻里子1)、林潤子2)、杉山あや子1)、福田謙一1)、高北義彦1)、一戸達也3)

プロポフォル麻酔下にflexible laryngeal mask airwayを挿入する際のレミフェンタニル至適投与速度に関する検討

日本歯科麻酔学会雑誌, 40(4), 548, 2012.

第40回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 福岡市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 神奈川歯科大学横浜研修センター横浜クリニック障害者歯科、3) 東京歯科大学歯科麻酔学

医中誌 ID : 2013047928

原著/原著論文 1

24502061 原著/原著論文

Iijima T1)2), Homma S1)2), Sekine H1)3), Sasaki H1)2), Yajima Y1)2), Yoshinari M1).

Influence of surface treatment of yttria-stabilized tetragonal zirconia polycrystal with hot isostatic pressing on cyclic fatigue strength.

Dent Mater J, 32(2), 274-280, 2013.

1) 東京歯科大学口腔科学研究センター・口腔インプラント学研究部門、2) 東京歯科大学口腔インプラント学、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント
DOI: 10.4012/dmj.2012-247 PubMed ID: 23538763

原著/症例報告論文 1

24303009 原著/症例報告論文

高崎義人1)、高野正行2)、山村哲生2)、田口達夫3)、笠原正貴4)、橋本貞充5)

インプラントによる下歯槽神経損傷に対し大耳介神経移植を行った1例

日本口腔外科学会雑誌, 58(10), 581-585, 2012.

1) 国立病院機構高崎総合医療センター歯科口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、4) 慶應義塾大学医学部医化学、5) 東京歯科大学生物学
医中誌 ID: 2013095105

単行図書 (分担) 1

24307004 単行図書 (分担)

関根秀志

32. どうしてインプラントは骨に違和感を生じないのだろうか?

新・口腔の生理からどうしてを解く, 134-138, 2012.

デンタルダイヤモンド社 東京都千代田区

東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント

学会発表・示説 8

24301003 学会発表・示説

松崎真衣1)、藤波弘州2)、高梨琢也3)、井田篤2)、上島文江1)、関根秀志4)、古澤成博3)、山下秀一郎5)、齋藤淳6)

侵襲性歯周炎に対して歯科衛生ケアが効果的であった一症例

歯科学報, 112(2), 173, 2012.

第293回東京歯科大学学会 (例会) 千葉市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、5) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、6) 東京歯科大学歯周病学
医中誌 ID: 2012281977

24303021 学会発表・示説

牧野盛太郎1)、高野正行1)、笠原清弘1)、伊藤和宏1)、関根秀志2)、松崎文頼2)、高梨琢也2)

腸骨移植によるサイナスリフトの長期経過症例の臨床的検討

顎顔面インプラント学会誌, 11(3), 228, 2012.

第16回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 北九州市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント

24303022 学会発表・示説

伊藤和宏1)、牧野盛太郎1)、笠原清弘1)、高野正行1)、関根秀志2)、高崎義人1)3)

口腔インプラントの術後併発症により当科を受診した症例の臨床的検討

顎顔面インプラント学会誌, 11(3), 182, 2012.

第16回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 北九州市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、3) 国立病院機構高崎総合医療センター歯科口腔外科

24304005 学会発表・示説

海老原環1)、宮崎晴代2)、山上美樹3)、関根秀志4)、高野正行5)、長谷部利一6)、片田英憲2)、末石研二7)

外科的矯正治療とインプラント補綴を行った成人Down症候群の一例

第71回日本矯正歯科学会大会プログラム, 276, 2012.

第71回日本矯正歯科学会大会 盛岡市

1) 亀田クリニック歯科センター、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、5) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科、6) 東京都、7) 東京歯科大学歯科矯正学

医中誌 ID : 2013063813

24307001 学会発表・示説

古屋克典1)、田口達夫1)、高梨琢也1)、平林剛2)、関根秀志1)

インプラント治療後に生じる合併症の臨床検査

日本口腔インプラント学会誌, 25(特別号), 253, 2012.

日本口腔インプラント学会学術大会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、2) 東京歯科大学水道橋病院歯科技工室

24307002 学会発表・示説

関根秀志1)、西田茜1)、松崎文頼1)、古屋克典1)、高梨琢也1)、田口達夫1)、山下秀一郎2)

インプラント療法を希望した患者の臨床調査

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 262, 2013.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

24307003 学会発表・示説

関根秀志1)、田口達夫1)、松崎文頼1)、高梨琢也2)、古屋克典1)

インプラント埋入手術後の不快症状に関する臨床検査

日本口腔インプラント学会第32回関東・甲信越支部学術大会プログラム抄録集, 113, 2013.

日本口腔インプラント学会第32回関東・甲信越支部学術大会 東京都新宿区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科

24308003 学会発表・示説

西田茜1)、松崎文頼2)、古屋克典2)、関根秀志2)、山下秀一郎3)

インプラント療法を希望した患者の臨床調査 過去2年間の調査結果の比較

日本口腔インプラント学会誌, 25(特別号), 266, 2012.

第42回日本口腔インプラント学会・学術大会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

医中誌 ID : 2013093541

原著/臨床研究論文 3

24308007 原著/臨床研究論文

Hayakawa H1), Fujinami K2), Ida A2), Furusawa M1), Nikaido M3), Yamashita S4), Saito A5).

Clinical outcome of surgical periodontal therapy: A short-term retrospective study.

The Bulletin of Tokyo Dental College, (4), 189-195, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、5) 東京歯科大学歯周病学

医中誌 ID : N107290004

24308008 原著/臨床研究論文

古澤成博1)、細川壮平1)、藤波弘州2)、山下秀一郎3)

東京歯科大学水道橋病院における臨床専門専修科生プログラムに関するアンケート調査 特に歯科保存学系プログラムについて
歯科学報, 113(1), 69-76, 2013.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

医中誌 ID : 2013205954

24308009 原著/臨床研究論文

Tanigawa Y1), Kasahara T2), Yamashita S3).

Location of main occluding areas and masticatory ability in patients with implant-supported prostheses.

Aust Dent J, 57(2), 171-177, 2012.

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 松本歯科大学歯科補綴学、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

DOI : 10.1111/j.1834-7819.2012.01680.x PubMed ID : 22624757

解説 2

24102037 解説

齋藤淳1)、細井隆太郎1)、井田篤2)、大田恵3)、早川裕記3)

卒後臨床教育におけるフォーマルディベートの意義と成果

歯界展望, 120(2), 328-335, 2012.

1) 東京歯科大学歯周病学、2) いだ歯科クリニック、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科

医中誌 ID : 2012332350

24308002 解説

吉田隆1)、古澤成博2)、高久悟1)

大学課程における歯科衛生士養成教育

歯科学報, 112(4), 457-461, 2012.

1) 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科

医中誌 ID : 2013124472

単行図書 (分担) 1

24102049 単行図書 (分担)

齋藤淳1)、杉戸博記2)

GTR法の概念

臨床歯周病学 第2版, 266-271, 2013.

医歯薬出版株式会社 東京都文京区

1) 東京歯科大学歯周病学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科

学会発表・口演 4

24305004 学会発表・口演

嶋田みゆき1)、津村麻記2)3)、佐藤正樹2)、Sobhan Ubaidus2)、山下秀一郎4)、田崎雅和3)、澁川義幸2)3)

グアヤコールは象牙芽細胞のCa²⁺チャネルに直接作用する

歯科学報, 112(4), 541, 2012.

第294回東京歯科大学学会(総会) 千葉市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、2) 東京歯科大学口腔科学研究センター・hrc8、3) 東京歯科大学生理学、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科
医中誌 ID : 2013124496

24306004 学会発表・口演

若林真由美1)、齋藤千晴1)、磯山素子1)、清野菜摘1)、上島文江1)、半田俊之2)、久保周平3)、古澤成博4)

歯科衛生士養成機関学生の臨床実習前後における医療安全に対する意識調査

歯科学報, 112(4), 552, 2012.

第294回東京歯科大学学会(総会) 千葉市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科
医中誌 ID : 2013124518

24306006 学会発表・口演

半田俊之1)、福田謙一1)、古澤成博2)、一戸達也3)、金子讓3)

原因不明とされる歯の痛みに対する歯科用コーンビームCTの有用性

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 667, 2012.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、3) 東京歯科大学歯科麻酔学
医中誌 ID : 2013031298

24308004 学会発表・口演

山本真志1)、野平明彦1)、瓜田雄一郎1)、山下秀一郎2)

当院における初診患者に関する調査 一来院動機と口腔関連QOLとの関連について一

日本補綴歯科学会誌, 4(121回特別号), 130, 2012.

日本補綴歯科学会第121回学術大会 横浜市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

学会発表・示説 10

24301002 学会発表・示説

松崎真衣1)、井田篤2)、藤波弘州3)、上島文江1)、齋藤淳4)

歯周基本治療と歯周組織再生療法が奏功した侵襲性歯周炎患者の一症例

日本歯周病学会誌, 54(春季特別号), 173, 2012.

第55回春季日本歯周病学会学術大会 札幌市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、4) 東京歯科大学歯周病学
医中誌 ID : 2012276416

24301003 学会発表・示説

松崎真衣1)、藤波弘州2)、高梨琢也3)、井田篤2)、上島文江1)、関根秀志4)、古澤成博3)、山下秀一郎5)、齋藤淳6)

侵襲性歯周炎に対して歯科衛生ケアが効果的であった一症例

歯科学報, 112(2), 173, 2012.

第293回東京歯科大学学会(例会) 千葉市

1) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、4) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、5) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、6) 東京歯科大学歯周病学
医中誌 ID : 2012281977

24302005 学会発表・示説

三宅菜穂子1)、西田茜2)、山下秀一郎1)

局部義歯にアダムスクラスプを応用した唇顎口蓋裂症例

日本補綴歯科学会誌, 4(121回特別号), 288, 2012.

日本補綴歯科学会第121回学術大会 横浜市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科

24302006 学会発表・示説

金井由起1)、久留島幸奈2)、澁川義宏3)、三宅菜穂子1)、早川裕記2)、堀田宏巳1)、藤波弘州3)、細川壮平2)、古澤成博2)、山下秀一郎1)

水道橋病院総合歯科における学生臨床実習での一診療一質問への取り組み - 歯学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応 - 歯科学報, 112(2), 172, 2012.

第293回東京歯科大学学会(例会) 千葉市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存

24307003 学会発表・示説

関根秀志1)、田口達夫1)、松崎文頼1)、高梨琢也2)、古屋克典1)

インプラント埋入手術後の不快症状に関する臨床検査

日本口腔インプラント学会第32回関東・甲信越支部学術大会プログラム抄録集, 113, 2013.

日本口腔インプラント学会第32回関東・甲信越支部学術大会 東京都新宿区

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科

24308001 学会発表・示説

古澤成博、吉田隆、早川裕記、大田恵、細川壮平、河野誠之

東京歯科大学水道橋病院における歯科用マイクロスコープ使用の現状 特に歯内療法処置について

日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集136回, 144, 2012.

第136回日本歯科保存学会春季学術大会 宜野湾市

東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科

医中誌 ID: 2012349806

24308003 学会発表・示説

西田茜1)、松崎文頼2)、古屋克典2)、関根秀志2)、山下秀一郎3)

インプラント療法を希望した患者の臨床調査 過去2年間の調査結果の比較

日本口腔インプラント学会誌, 25(特別号), 266, 2012.

第42回日本口腔インプラント学会・学術大会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴

医中誌 ID: 2013093541

24308006 学会発表・示説

Hayakawa H1), Fujinami K2), Saito A3).

Surgical periodontal therapy at Tokyo Dental College Suidobashi Hospital.

第98回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会2012年大会抄録集, 42, 2012.

第98回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会2012年大会 Los Angeles, USA

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存、3) 東京歯科大学歯周病学

24308010 学会発表・示説

杉戸博記1)、春山亜貴子2)、亀山敦史2)、杉山利子2)、山倉大紀2)、野呂明夫2)、近藤祥弘2)、高橋俊之2)、高瀬保晶2)、薬師寺孝3)、和光衛4)、中島一憲5)、松木由紀子6)

東京歯科大学千葉病院における歯科医師臨床研修について

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 681, 2012.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、2) 東京歯科大学千葉病院総合診療科、3) 東京歯科大学口腔外科学、4) 東京歯科大学歯科放射線学、5) 東京歯科大学スポーツ歯学、6) 東京歯科大学歯科麻酔学

医中誌 ID: 2013031380

24311001 学会発表・示説

仁科牧子1)、村井恵子2)、大田恵3)、水野晃子4)、齋藤淳5)、一戸達也6)

経口禁煙補助薬の認知度上昇が禁煙治療に及ぼした影響

第6回日本禁煙学会学術総会抄録集, 148, 2012.

第6回日本禁煙学会学術総会 仙台市

1) 東京歯科大学水道橋病院内科、2) 東京歯科大学水道橋病院看護部、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、4) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、5) 東京歯科大学歯周病学、6) 東京歯科大学歯科麻酔学

学会発表・ワークショップ 1

24102040 学会発表・ワークショップ

勢島典1)、齋藤淳1)、太田幹夫1)、富田幸代1)、庵原英晃1)、水野剛志1)、長谷川昭子1)、杉戸博記2)、村本睦司3)、黒岩恵4)

スケーリング・ルートプレーニングのシュミレーション教育用システム (SRP-STM) の開発と実践

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 88, 2012.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学歯周病学、2) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、3) 株式会社ユニスン、4) 株式会社恵夢工房

2. 眼 科

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教 授 ビッセン宮島弘子 多焦点眼内レンズ挿入眼の視機能
助 教 吉野 真未 多焦点眼内レンズの長期成績
 平沢 学 多焦点眼内レンズと角膜乱視

2. 成果の概要

1) 多焦点眼内レンズ挿入眼の長期成績

多焦点眼内レンズの長期臨床成績と眼内レンズの表面散乱について検討。挿入後早期から6年まで安定した遠方および近方視力が得られ、疎水性アクリルレンズの表面散乱を計測し、明らかに散乱強度が増加しているが視機能への影響がない事が確認された。以下の論文にまとめた。

J Cataract Refract Surg 39(11): 1729-1733, 2013.

J Cataract Refract Surg 39(10): 1502-1506, 2013.

Jap J Ophthal 57(6): 510-513, 2013.

2) トーリック眼内レンズ挿入眼の視機能

角膜乱視例におけるトーリック眼内レンズ挿入後の視機能を検討した。また、多施設後ろ向き研究にて、トーリック眼内レンズ各モデルの成績をトーリック眼内レンズを用いなかったコントロール症例と比較した。現在、各施設の総合結果をまとめ解析中である。

3. 研究活動の特記すべき事項

学会・研究会主催

主催者名	年月日	学会・研究会名	会場	開催地
ビッセン宮島弘子	2012. 6.15- 6.17	第27回JSCRS学術総会	東京国際フォーラム	東京都千代田区
ビッセン宮島弘子	2012. 5.31	第1回水道橋眼科フォーラム	グラントハイアット東京	東京都港区
ビッセン宮島弘子	2012.10. 4	第2回水道橋眼科フォーラム	グランドハイアット東京	東京都港区

シンポジウム

シンポジスト	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
ビッセン宮島弘子	2012. 4. 5	老視矯正眼内レンズ	第116回日本眼科学会総会	東京都千代田区
Bissen-Miyajima H	2012. 4.22	IOL with multifocal and toric functions. (Symposium) American Society of Cataract and Refractive Surgery,	2012 ASCRS Symposium on Cataract, IOL and Refractive Surgery	Chicago, USA

Bissen-Miyajima H	2012. 4.22	Effect of Oblique Corneal Astigmatism on Visual Acuity After Implantation of Diffractive Multifocal IOL	2012 ASCRS Symposium on Cataract, IOL and Refractive Surgery	Chicago, USA
Bissen-Miyajima H	2012. 6. 1	Multifocal IOL and Toric Function. (Symposium) 25th Asia-Pacific Association of Cataract and Refractive Surgeons,	Asia-Pacific Association of Cataract and Refractive Surgeons, Shanghai,	上海、中国
ビッセン宮島弘子	2012. 6.15	Review of ASCRS-JSCRS Joint Symposium “Merging of Cataract and Refractive Surgery” at ASCRS 2012.	第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会	東京都千代田区
ビッセン宮島弘子	2012. 6.15	LASIKの基本 手術方法	第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会	東京都千代田区
Bissen-Miyajima H	2012. 9.10	Preliminary results of micro-incision trifocal toric intraocular lenses with new optical design.	European Society of Cataract & Refractive Surgeons	Milan, Italy
ビッセン宮島弘子	2012.10.26	白内障手術と乱視矯正 トーリック眼内レンズをマスターしよう	第66回日本臨床眼科学会	京都市
ビッセン宮島弘子	2013. 1.27	トーリック眼内レンズ	第36回日本眼科手術学会	福岡市

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演題	学会名	開催地
Bissen-Miyajima H	2012. 8.10	The effect of corneal astigmatism on visual acuity in the eye with multifocal IOL.	Australasian Society of Cataract and Refractive Surgeons	Queenstown, New Zealand
Bissen-Miyajima H	2012. 8.10	One year clinical results of newly developed micro-incision toric IOL.	Australasian Society of Cataract and Refractive Surgeons	Queenstown, New Zealand

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演題	会合の名称	開催地
ビッセン宮島弘子	2012. 5.17	老眼治療最前線	第11回東京歯科大学水道橋病院症例報告会	東京都千代田区
ビッセン宮島弘子	2012. 5.29	第27回JSCRS学術総会トピックス	日本抗加齢医学会・JSCRS(日本白内障屈折矯正手術学会)合同エデュケーションナルセミナー	東京都港区
ビッセン宮島弘子	2012. 8.25	確実な視機能向上と拡がる適応～トーリックIOL～	トーリックIOLセミナー in 京都	京都市
ビッセン宮島弘子	2012. 9.29	屈折矯正手術	北海道眼科医会北海道ブロック講習会	札幌市
ビッセン宮島弘子	2013. 1.19	フェムトセカンドレーザーは眼科手術を変えるか?	第6回東京眼科アカデミー	東京都港区

ビッセン宮島弘子	2013. 2. 2	屈折矯正手術としての白内障手術の考え方	第88回鳥取大学眼科研究会	鳥取市
----------	------------	---------------------	---------------	-----

4. 教育講演等教育に関する業績、活動

他の大学・研究機関等における学生・大学院生を対象とする講義・実習

担当者名	年月日	テーマ・演題	大学・機関	所在地
ビッセン宮島弘子	2012. 7. 5	水晶体超音波乳化吸引術と眼内レンズ	慶應義塾大学後期研修医教育講演	東京都新宿区

5. 社会的貢献・社会に対する活動

その他メディア等への掲載・出演

氏名	年月日	タイトル	掲載誌・放送局番組名・URL
ビッセン宮島弘子	2012. 4.10	老視を考えた度数調整をすることでレーシックのメリットを生かせる	わが家の笑げんきをそだてる笑顔
ビッセン宮島弘子	2012. 9.15	多焦点眼内レンズによる白内障治療	女性のためのいい病院

原著/臨床研究論文 1

24310024 原著/臨床研究論文

佐藤正樹1)2)、大鹿哲郎2)、ビッセン宮島弘子3)

2011年日本白内障屈折矯正手術学会会員アンケート

IOLRS, 26(4), 452-476, 2012.

1) 筑波大学医学部附属病院水戸地域医療教育センター眼科、2) 筑波大学医学部眼科、3) 東京歯科大学水道橋病院眼科
医中誌 ID : 2013152394

解説 5

24310025 解説

ビッセン宮島弘子1)、宮田和典2)

近年の難症例への対処法

あたらしい眼科, 29(2), 149-150, 2012.

1) 東京歯科大学水道橋病院眼科、2) 宮田眼科医院

24310027 解説

ビッセン宮島弘子

多焦点眼内レンズ

日本医師会雑誌, 141(4), 770, 2012.

東京歯科大学水道橋病院眼科

医中誌 ID : 2012330736

24310029 解説

ビッセン宮島弘子

わかりやすい臨床講座 各眼内レンズによる視機能

日本の眼科, 84(2), 126-130, 2013.

東京歯科大学水道橋病院眼科

医中誌 ID : 2013179935

24310030 解説

ビッセン宮島弘子

眼科医の手引 屈折矯正手術後症例で注意すべき点

日本の眼科, 84(2), 151-152, 2013.

東京歯科大学水道橋病院眼科

医中誌 ID : 2013179938

24310032 解説

ビッセン宮島弘子

屈折矯正手術 フェムト秒レーザー フェムト秒レーザーによる白内障手術

臨床眼科, 66(11), 294-297, 2012.

東京歯科大学水道橋病院眼科

医中誌 ID : 2013052699

学会発表・口演 6

24310001 学会発表・口演

Bissen-Miyajima H.

Effect of oblique corneal astigmatism on visual acuity after implantation of diffractive multifocal IOL.

American Society of Cataract and Refractive Surgery, Program & Abstracts, 2012.

American Society of Cataract and Refractive Surgery Chicago, USA

東京歯科大学水道橋病院眼科

24310012 学会発表・口演

吉野真未、ビッセ宮島弘子、大木伸一、野中亮子、南慶一郎
年代別多焦点眼内レンズ挿入後の矯正視力：単焦点眼内レンズとの比較
第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会プログラム抄録集, 142, 2012.
第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会 東京都千代田区
東京歯科大学水道橋病院眼科

24310013 学会発表・口演

大木伸一、ビッセ宮島弘子、平沢学、吉野真未
多焦点眼内レンズ挿入後に単焦点眼内レンズに交換した3例
第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会プログラム抄録集, 105, 2012.
第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会 東京都千代田区
東京歯科大学水道橋病院眼科

24310018 学会発表・口演

ビッセ宮島弘子1)、宮田和典2)、神谷和孝3)、中村邦彦4)
白内障手術と乱視矯正 ～トーリック眼内レンズをマスターしよう～
第66回日本臨床眼科学会プログラム抄録集, 92, 2012.
第66回日本臨床眼科学会 京都市
1) 東京歯科大学水道橋病院眼科、2) 宮田眼科医院、3) 北里大学医学部眼科、4) たなし中村眼科

24310019 学会発表・口演

中村邦彦1)、ビッセ宮島弘子2)、吉野真未2)、大木伸一2)
回折型多焦点眼内レンズ挿入眼におけるLASIKによる屈折誤差矯正の比較
第66回日本臨床眼科学会プログラム抄録集, 36, 2012.
第66回日本臨床眼科学会 京都市
1) たなし中村眼科、2) 東京歯科大学水道橋病院眼科

24310020 学会発表・口演

平沢学、ビッセ宮島弘子、吉野真未、野中亮子、大木伸一、南慶一郎
Laser in situ keratomileusis後眼における多焦点眼内レンズ挿入の臨床成績
第66回日本臨床眼科学会プログラム抄録集, 36, 2012.
第66回日本臨床眼科学会 京都市
東京歯科大学水道橋病院眼科

学会発表・示説 2

24310014 学会発表・示説

野中亮子、ビッセ宮島弘子、大木伸一、南慶一郎
異なる光学部素材の回折型多焦点レンズ挿入例の臨床成績
第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会プログラム抄録集, 100, 2012.
第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会 東京都千代田区
東京歯科大学水道橋病院眼科

24310015 学会発表・示説

佐藤久美子、ビッセ宮島弘子、吉野真未、平沢学、大木伸一、大熊泉
当院における多焦点眼内レンズ挿入希望例の検討
第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会プログラム抄録集, 101, 2012.
第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会 東京都千代田区
東京歯科大学水道橋病院眼科

学会発表・シンポジウム 5

24310002 学会発表・シンポジウム

Bissen-Miyajima H

IOL with multifocal and toric functions.

American Society of Cataract and Refractive Surgery, Program & Abstracts, 2012.

American Society of Cataract and Refractive Surgery Chicago, USA

東京歯科大学水道橋病院眼科

24310003 学会発表・シンポジウム

Bissen-Miyajima H

Multifocal IOL and toric function.

25th Asia-Pacific Association of Cataract and Refractive Surgeons, Program & Abstracts, 2012.

25th Asia-Pacific Association of Cataract and Refractive Surgeons Shanghai, China

東京歯科大学水道橋病院眼科

24310004 学会発表・シンポジウム

ピッセン宮島弘子

老視矯正眼内レンズ

第116回日本眼科学会総会プログラム抄録集, 115, 2012.

第116回日本眼科学会総会 東京都千代田区

東京歯科大学水道橋病院眼科

24310017 学会発表・シンポジウム

Bissen-Miyajima H.

Review of ASCRS-JSCRS joint symposium "Merging of cataract and refractive surgery" at ASCRS 2012.

第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会プログラム抄録集, 5, 2012.

第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会 東京都千代田区

東京歯科大学水道橋病院眼科

24310023 学会発表・シンポジウム

ピッセン宮島弘子

トーリック眼内レンズ

第36回日本眼科手術学会総会プログラム抄録集, 2012.

第36回日本眼科手術学会総会 福岡市

東京歯科大学水道橋病院眼科

学会発表・教育講演 2

24310016 学会発表・教育講演

ピッセン宮島弘子

LASIKの基本 手術方法

第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会プログラム抄録集, 22, 2012.

第27回日本白内障屈折矯正手術学会総会 東京都千代田区

東京歯科大学水道橋病院眼科

24310022 学会発表・教育講演

ピッセン宮島弘子

安全、そこに至るまでの術手（すべて）（モーニングセミナー）

第36回日本眼科手術学会総会プログラム抄録集, 2012.

第36回日本眼科手術学会総会 福岡市

東京歯科大学水道橋病院眼科

学会発表・ランチョンセミナー 1

24310021 学会発表・ランチョンセミナー

ビッセン宮島弘子

視力の質の視点から光学的な解剖を行う

第36回日本眼科手術学会総会プログラム抄録集, 2012.

第36回日本眼科手術学会総会 福岡市

東京歯科大学水道橋病院眼科

その他 1

24310031 その他

ビッセン宮島弘子

私のスタイル～女性医師として～

眼科グラフィック, 2(2), 230, 2013.

東京歯科大学水道橋病院眼科

3. 内 科

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

准教授 仁科 牧子 全身と口腔機能との関連について
歯科における禁煙指導の取り組み方について

2. 成果の概要

歯周疾患と糖尿病や動脈硬化性疾患の相互による関連があきらかとなっているが、その他にも全人的医療の立場から考えると口腔の状態が中枢神経系から、運動神経系、免疫系、自律神経系、内分泌系などを介し全身の状態に影響を及ぼしている可能性があるが、それを示すエビデンスはまだ十分ではない。咬合、嚥下、咀嚼などの機能異常が生じると全身にどのような変化がおき、逆に全身にどのような問題が生じたときに口腔症状をきたすことがあるかなど相互の関連性を明らかにしていくには、様々な他覚的事象を積み重ねていく必要がある。医科と歯科との連携をはかるためにもエビデンスを明らかにすることは重要だと思われ、さまざまな症例を臨床的に広く検討中である。

また過度の喫煙がニコチン依存症という疾病で健康への悪影響があることは周知の事実であり、禁煙を志す例も多くなっている。しかし、再喫煙が多いことも事実である。

現在は歯科、歯科衛生士部、看護部とともにチームを作り禁煙治療を実践している。再喫煙の予防法、禁煙を阻害する因子、患者の啓蒙の方法や再喫煙予防における歯科の役割などについて検討している。その成果の一部を第6回日本禁煙学会学術総会（仙台 2012年4月）にて発表した。

学会発表・口演 1

24202024 学会発表・口演

安部貴人1)、野川茂1)、岡田聡1)、仁科牧子2)、森下鉄夫1)

Trousseau症候群により脳梗塞を呈した10症例の検討

臨床神経学, 52(12), 1484, 2012.

第53回日本神経学会総会 東京都千代田区

1) 東京歯科大学市川総合病院内科、2) 東京歯科大学水道橋病院内科

医中誌 ID : 2013147752

学会発表・示説 1

24311001 学会発表・示説

仁科牧子1)、村井恵子2)、大田恵3)、水野晃子4)、齋藤淳5)、一戸達也6)

経口禁煙補助薬の認知度上昇が禁煙治療に及ぼした影響

第6回日本禁煙学会学術総会抄録集, 148, 2012.

第6回日本禁煙学会学術総会 仙台市

1) 東京歯科大学水道橋病院内科、2) 東京歯科大学水道橋病院看護部、3) 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科、4) 東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、5) 東京歯科大学歯周病学、6) 東京歯科大学歯科麻酔学